

特定非営利活動法人

VOL.59

南国暮らしの会

2014年 新年号



富士山
No.732 馬場章介氏提供

平成26年1月6日



NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

(2014年 新年号)

目 次

(敬称略)

新年のご挨拶	No. 434	大野 悦子	1
ロングステイの報告			
「ロングステイフェア2013」の報告	No. 434	大野 悦子	2
ロングステイ滞在希望国アンケート			3
チェンマイ連絡掲示板について	No. 60	渡辺 義郎	4
最近の「北海道ロングステイ」情報	No.1285	桂 裕章	4
会員からの投稿 (I)			
スイス (& イタリア) 手作り旅行記	No.1216	小鷹益雄・照子	6
ベナン生活に満足	No. 740	渡辺 亜雄	13
男3人、ベトナム縦断の旅	No.1075	三上 英司	15
秋を満喫！栗拾いと合宿サロン会	No. 581	朝永美代子	19
Our longstay in Perth	No.1225	高橋眞治・順子	22
ポルトガル&スペイン38日間グループ旅行	No.1381	井藤 正治	25
みんなでBBQ	No. 37	野一色信正	29
南国写真サロン			31
会員からの投稿 (II)			
私の日本語ボランティア	No. 208	小林 明広	35
セブでの11年の生活	No. 359	大石橋洋行	37
ハワイでのボランティア体験記	No. 891	徳永美智子	40
ダバオに片思い5年	No.1125	佐々木一信	43
支部便り			
北海道支部便り	No.1285	桂 裕章	46
関東甲信越支部便り	No. 750	小松 勝正	46
東海支部便り	No. 853	岩月 玲子	48
関西支部便り	No. 816	有元 義晶	48
九州支部便り	No. 581	朝永 清寿	49
セブ支部便り	No. 636	鶴岡 照郎	50
バギオ・パンガシナン支部便り	No. 227	斎木 一	51
ダバオ支部便り	No.1261	藤本 晴久	51
ベナン支部便り	No. 519	常楽 和子	52
部会伝言板			
広報部会	No.1068	山科 滋雄	53
会員部会	No.1230	吉野 正博	53
会報部会	No.1017	光城 保之	53
経理部会	No. 755	岩井 文哉	54
総務部会	No. 996	歌田 晃一	54
必携委員会よりお知らせ	No. 996	歌田 晃一	55
友好団体紹介コーナー			56
南国暮らしの会 支部一覧			57
編集後記			57
平成26年度会費納入のご案内			58

新年のご挨拶

南国暮らしの会 理事長 No.434 大野 悦子

謹んで新春のお慶びを申し上げます

会員及びご家族の皆様が、お健やかで穏やかな1年でありますよう心からお祈り致します。

昨年は、事務所の変更と「必携」の増刷に伴い、「定款一部変更」(内容は、会報VOL.58のP.3 参照)を行い、平成25年9月17日付で都庁から「定款変更の認証書」が届きました。

「定款変更」の折には、理事の方々が、「必携」増刷の折には、「必携委員会」の方々がご協力下さり、感謝申し上げます。

また、この体験を致しまして、改めてこの「必携」を初めに作成して下さい諸先輩方のご努力に敬意を表すると共に感謝申し上げます。

会員の皆様には、この「必携」をよくお読み頂きまして、「会則」や「南国暮らし 心得10ヶ条」、「海外支部のある地域に滞在する場合の『べからず集』」を理解して頂き、「南の会」の会員として活動して下さいますようお願い申し上げます。

また、昨年は、九州支部で6月2日に「九州支部設立10周年記念総会」が開催されたり、10月5日には、北海道支部では、「南の会北海道支部例会兼支部結成10周年記念」が開催されました。

そして今年は、9月にNPO法人認証15周年を迎えます。これもひとえに、会員の皆様方のご支援とご協力の賜物でございます。

一昨年、ロングステイ財団主催の「ロングステイフェア2012」に参加した折、大変、反響がございまして、今年度(平成25年4月～平成26年3月)の初めから新規入会者が大幅に増加致しまして、新しい空気が入ったと感じております。

役員や国内外支部長の方々は、ボランティアで会の為に活動をして下さっております。会員の皆様には、この事を知って頂き、役員の方々にも、支部長の方々にもゆっくりロングステイをして頂くよう、是非、ご協力下さるようお願い申し上げます。

そして、是非、大勢の方々に役員を経験して頂きたいと願っております。

これから寒い時期を迎え、「南国」へロングステイにお出かけの会員が多くなりますが、「受益者負担」、「自己責任」を原則に、ゴルフ同好会、テニス同好会、この指とまれ方式の海外下見ツアーなどに自主的に積極的に活動され、親睦を深めて頂き、また、現地の文化や習慣に理解をもって接して頂くことをお願い致します。

また、各支部でもパソコン教室を開催して頂き、会員全員がメールのやり取りが出来るようになるよう働きかけてゆきたいと思っております。

本年もご理解とご協力をお願い致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



ロングステイの報告

「ロングステイフェア2013」の報告

関東甲信越支部 No.434 大野 悦子

11月2日(土)に、一般財団法人ロングステイ財団主催、経済産業省、外務省などの後援により、東京ビッグサイトで「ロングステイフェア2013」が開催され、「南国暮らしの会」は、今年も「ロングステイ愛好会」として参加致しました。

今年は、ロングステイの同好会である「ロングステイクラブ」も参加され、同じテーブルでお隣り同志で、友好的に「ロングステイ」の推奨活動を致しました。

今年の来場者数は、9,671名と昨年に比較しますと、3連休の初日で、行楽地へ行かれた方が多かったのか、少ないように感じられました。

当会のブースには約70名の方が訪れ用意した入会お誘い資料等でお手伝いの会員の方たちが説明をされ入会のお誘いをいたしました。

其の結果この場で3組の方の入会申し込みがありました。(昨年は後日多数の申し込みがありましたが今年は前年以上の申し込みがあると期待しております)また、用意した入会資料70組、「入会お誘い」資料は、10冊ほど、案内チラシは、100枚ほど手渡すことが出来ました。

フェアの終了間際にテレビ東京の「未来世紀ジパング」の番組制作の方が取材に来られ、「最近ロングステイが増えてきたと聞いているが、



会場

本当にそういう動きがあるのか？」と質問されました。昨年のロングステイフェアに参加して、今年は、入会者がすごく増えた事をお伝えしました。

最後に、今回のフェアで7名の理事の方々と5名の会員の方々が交代で受付や接客をして下さり、早番の方は、朝8時から会場設営のお手伝いをして下さいまして、厚く御礼申し上げます。



マレーシアのブース



南の会のブース

ロングステイ滞在希望国アンケート

過去7年間の希望国・地域の推移

マレーシアが7年連続1位という結果となった。またシンガポールが昨年初登場したが、今回は8位と躍進している。

順位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
1	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア
2	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	ハワイ	ハワイ	タイ	タイ
3	タイ	タイ	ハワイ	オーストラリア	タイ	ハワイ	ハワイ
4	ニュージーランド	ハワイ	タイ	タイ	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア
5	ハワイ	ニュージーランド	ニュージーランド	ニュージーランド	カナダ	カナダ	ニュージーランド
6	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	ニュージーランド	ニュージーランド	カナダ
7	スペイン	フィリピン	スペイン	フィリピン	フィリピン	インドネシア	フィリピン
8	インドネシア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	スペイン	フィリピン	シンガポール
9	イギリス	スペイン	フィリピン	スペイン	インドネシア	台湾	インドネシア
10	アメリカ本土	アメリカ本土	アメリカ本土	アメリカ本土	スイス	シンガポール	台湾

下表は年代別の希望国順位のベスト20である。昨年は30代未満では、アジア諸国ではマレーシアが10位に登場しているだけであったが、今回はタイ、フィリピンも入っている。また30代の1位は、昨年はハワイであったが、マレーシア、タイが1、2位と入れ替わる結果となっている。

年代別希望国ベスト20 (年代別)

	30代未満		30代		40代		50代		60代以降	
	総数	124	総数	203	総数	463	総数	863	総数	1371
1	オーストラリア	36	マレーシア	106	マレーシア	282	マレーシア	594	マレーシア	931
2	カナダ	33	タイ	57	タイ	156	タイ	344	タイ	548
3	マレーシア	32	ハワイ	52	ハワイ	141	ハワイ	289	ハワイ	376
4	ハワイ	32	オーストラリア	48	オーストラリア	98	オーストラリア	226	オーストラリア	304
5	ニュージーランド	27	シンガポール	47	シンガポール	74	ニュージーランド	138	ニュージーランド	245
6	イギリス	26	ニュージーランド	35	ニュージーランド	67	カナダ	129	カナダ	202
7	アメリカ本土	25	アメリカ本土	33	カナダ	63	フィリピン	127	フィリピン	188
8	タイ	21	カナダ	26	フィリピン	63	シンガポール	108	インドネシア	146
9	フィリピン	18	フィリピン	23	インドネシア	57	インドネシア	97	ベトナム	119
10	フランス	18	インドネシア	23	アメリカ本土	49	ベトナム	91	シンガポール	113
11	シンガポール	17	ベトナム	16	台湾	48	台湾	87	台湾	112
12	台湾	17	台湾	15	スペイン	38	アメリカ本土	73	スペイン	83
13	スペイン	17	スイス	15	イタリア	38	スペイン	68	スイス	82
14	イタリア	15	イタリア	13	ベトナム	37	イタリア	55	イギリス	72
15	北欧	15	香港	13	フランス	31	スイス	48	アメリカ本土	69
16	スイス	14	ドイツ	12	イギリス	22	フランス	45	フランス	63
17	ドイツ	14	スペイン	11	グアム・マリアナ	21	イギリス	41	イタリア	62
18	インドネシア	12	イギリス	11	香港	19	グアム・マリアナ	37	オーストリア	53
19	オーストリア	12	フランス	11	韓国	18	韓国	36	ドイツ	35
20	イタリア	12	北欧	11	スイス	16	オーストリア	32	ポルトガル	33

一般財団法人ロングステイ財団調査資料より

チェンマイ連絡掲示板について

関東甲信越支部 No.60 渡辺 義郎

11月に「チェンマイ連絡掲示板」を開設しました。チェンマイのLSに関するいろいろな情報を書き込んで頂く掲示板です。インターネットで見ることができます。

インターネットのアドレスであるURLは、<http://8260.teacup.com/nangoku2/bbs> です。

このページを開きパスワードを入れて入室します。パスワードもここに書くと良いのですが、会員外へパスワードが漏れると、関係のない書き込みをされる恐れがありますので記載しません。南国ML(南国メール)で周知しておりますので、それをご参照ください。

この掲示板は、内容は会員の皆様の書き込みで構成されますが、ML、会報とは違って公式なものではありません。言ってみればブログと同じ性格の私的な掲示板です。

11月中旬の時点で、「お出かけ情報」、「レストラン情報」、「航空券情報」、「小旅行」、「パソコン、タブレット、通信」、「お役立ち情報」などがあり、写真付きの記事が書き込まれています。また、「ランナーゴルフ場予約状況」、「病院、医療、薬、保険」、「タイ人の生活に触れる」など現地直結の情報のコーナーもあります。また「教えて」は、チェンマイに関する質問とその回答のコーナーです。

MLと異なり自動的に配信されませんので、このページを見に行く必要があります。このページを見た回数を数えるカウンタがありますが、開設して最初の2週間で1600を超える閲覧があり、みなさんの関心が高いことがうかがわれます。

チェンマイに関心のある方はぜひ一度この掲示板を覗いてみてください。また、見るだけでなく自分の持っている情報、経験、また聞きたいことなどをぜひ書き込んでください。

最近の「北海道ロングステイ」情報

北海道支部 No.1285 桂 裕章

近年の夏の猛暑で、北海道に涼を求める旅行者が急増。特に避暑目的で道内を訪れる道外の旅行者、長期滞在者が急増しています。

「北海道体験移住「ちょっと暮らし」の実績(平成24年度)」の資料が北海道庁地域政策課から出ておりますので、参考まで掲載します。

北海道体験移住「ちょっと暮らし」

平成24年度実績のポイント

●利用者過去最高の1,900人超

対前年度比30.2%増加

- ・平成24年度の北海道体験移住「ちょっと暮らし」の利用者は、昨年度を458名上回り過去最高の1,975人が利用。滞在日数でも昨年度を19,304日上回り59,825日となった。
- ・平均滞在日数は初めて30日を超え、長期滞在型が増えてきている。
- ・利用者は、首都圏在住の方が40%、近畿圏在住の方が24%、中京圏在住の方が12%と三大都市圏在住の方が76%を占める。

	利用者数	滞在日数	平均滞在日数
平成24年度年間実績	1,975人	59,825日	30.3日
平成23年度年間実績	1,517人	40,521日	26.7日
対前年比	130.2%	147.6%	113.5%

●平成24年度「ちょっと暮らし」

利用者アンケート結果

- ・利用者の約3割が今後移住を考えるとおり、多くの方が賃貸での一戸建て住宅への居住を望んでいる。
- ・利用者は50歳代以上が約8割、夫婦での利用が約7割と大半を占め、「ちょっと暮らし」の利用目的としては、「シーズンステイ」が全体の45%程度と最も高く、「移住候補地探し」は20%程度となっている。
- ・約7割の方が「ちょっと暮らし」の滞在地から旅行をしており、同じく約7割の方が地元の

方々と知り合う機会があったと回答している。
・全体の85%が「ちょっと暮らし」について、
「大変満足」・「満足」としている。

・今後は、「温泉巡り」「地域の方々との交流」
を希望する方が最も多く、つりや農業・食品
加工体験を希望する方も多くいる。

北海道体験移住「ちょっと暮らし」実績【平成24年度年間分】

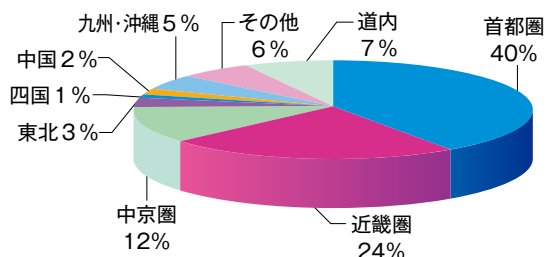
平成24年度年間分(H24.4.1～H25.3.31)実績

区分	24年度年間実績	対前年同期比
利用件数	950件	131.8%
利用者数	1,975人	130.2%
滞在日数	59,825日	147.6%
平均滞在日数	30.3日	108.0%

※81市町村で「ちょっと暮らし」を実施

利用者の居住地別人数等

利用者の居住地	利用件数	利用者数	滞在日数
首都圏	384件	798人	25,570日
近畿圏	237件	474人	13,801日
中京圏	117件	240人	6,344日
東北	29件	62人	1,508日
四国	14件	26人	824日
中国	15件	30人	1,293日
九州・沖縄	40件	103人	2,478日
その他	50件	108人	2,790日
道内	64件	134人	5,217日

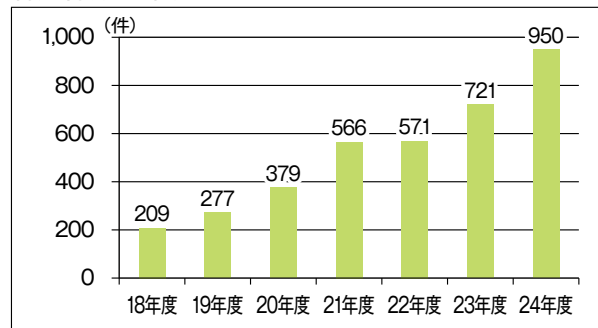


利用者数上位10市町村

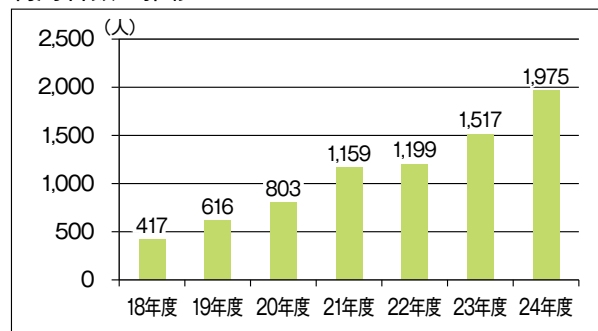
順位	利用者数	滞在日数
1	釧路市 180人	釧路市 6,834日
2	紋別市 117人	浦河町 5,076日
3	中標津町 89人	紋別市 3,595日
4	厚沢部町 86人	新ひだか 2,331日
4	清里町 86人	伊達市 2,298日
6	新ひだか 79人	美瑛町 2,240日
7	栗山町 73人	旭川市 2,074日
7	上士幌町 73人	日高町 1,987日
9	遠別町 59人	中標津町 1,928日
10	当別町 58人	富良野市 1,588日

- 注1 全市町村を対象に調査を実施。ただし、平成23年度以前については、移住相談ワンストップ窓口を設置している市町村のみを対象に調査を実施
- 注2 ちょっと暮らしは、H25.3月末で区切り、4月以降も連続して滞在する予定の日数についてはカウントしていない。
- 注3 人数及び滞在日数については、延べ数

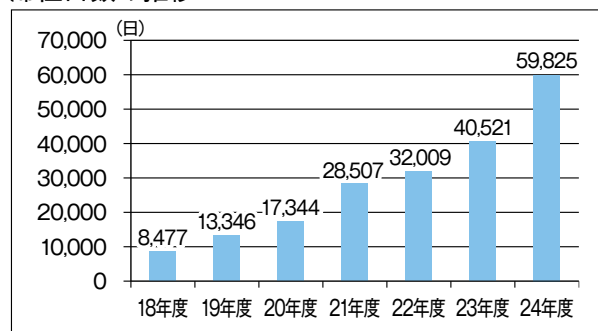
利用件数の推移



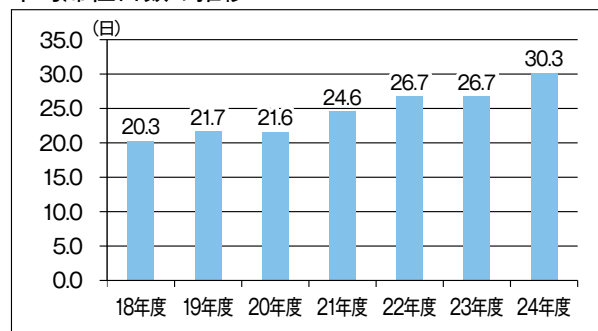
利用者数の推移



滞在日数の推移



平均滞在日数の推移



資料

「北海道ちょっと暮らし」
http://www.kurasube.com/krsb_top.php?MENU=26

「北の大地への移住の情報(北海道庁)」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/uiturn/iju-soku.htm#rinkusaki2>

スイス(&イタリア)手作り旅行記 (6・20~7・28)

東海支部 No.1216 小鷹 益雄・照子

1. はじめに

昨年10月、今年のパワイのコンドミニウムを予約してゐながら、ふとスイス行きを思ひつき(きっかけは思ひ出せない)、フットワークのいいうちにと考へ、早々にエアチケットを買つてしまいました。この時点で、行くなら最低一ヶ月、個人旅行と決めました。最終的にイタリアに1週間(5回目でおさらいです)、残り約30日をスイスとしました。



2. 情報収集

図書館から参考になりそうな本の乱読からはじめました。主たる目的は関連用語や地理、地名に慣れ、習慣や慣例的なことにも慣れ、そうすることで何をしたいか、どこに行くか、どうまわるかなどが、臆気ながら、そしてその内に輪郭となって見えてきます。(仕事と同じですね)

もう一つ大事と思ったのが鉄道の時刻表の見方、日本のものと大きくは違わないですが、習熟することは必須と思ひ、トーマスクックを借り、一部は電子データを買ったりして研究しました。

3. スケジュール

詳細はスケジュール表を添付しますが、情報収集の結果と鉄道路線図(国内の地下鉄=手帳の巻末に添付の路線図みたいなもの)を見ながら、どこにどういう順番で行って、それぞれ何泊するかをポストイットに書き込みしたものゝ貼りながら俯瞰し、決定してゐました。

4. ホテル

イタリアをエクスペディア、スイスはドットコム(2星又は3星)で予約。BBは無理と思ひ対象とせず。

違いは後者は直前までのキャンセルができ、前者は予約時即金。エアチケットを購入してゐながら、即金は迷ひが出た。結果ご承知のように円安にふれたので悔ひが残った。選択のポイントは「料金」(1.2万円目標だが思ひ通りにいかず)、「駅近」「雰囲気」「ツイン」。写真は掲載が少ないところも多く決め手にならない。どうしても料金の折り合ひのつかないところはバス・トイレ共用を選択した。最後まで取りにくかったのがモントルー(ジャズフェスティバルで満室らしくローザンヌに変更)とアンデルマツト(需要大? 駅から7~8分のスタジオタイプでとれた)

ホテルは地図で場所を確認(行き方も表示可能)し、プリントアウトし持参。一部不安のあったホテルも何とか無事に行けた。

***不安1**：空港近くのホテル(シャトルバス有無、最寄り駅が不明)

***不安2**：地図の精度(おかしい地図もあった) 多くの場合、地図に最寄りの駅名表示がないので駅からホテルの場所を追つても確信がもてないことがあった。

オーナー保有のコンドミニウム? 貸出物件では、ホテルフロントは存在せず、しかもオーナー旅行中で連絡取れず。偶然出会った別室客らしき人が代理人に連絡をとつてくれチェックイン出来たこともあった。

・ホテルの朝食

共通してゐるのは野菜がない(レタスなど)。差はパンの種類、ゆで卵・果物の有無。共通はコーヒー、ヨーグルト、ハムチーズ。コーヒーは種類(カプチーノ、エスプレッソetc.)の多さの差はあった。流行つてゐるのか3箇所の卵がカラーででてきた。(吹付処理)

・部屋

バス・トイレ共用のホテルを3箇所利用。全てバス・トイレは清潔だった。ただ、バスマットが用意されている、部屋に用意されている、用意無しなどがあった。

共用の場合、部屋は大分殺風景になります。

5. 各種チケット

・エアチケット

いろいろな格安航空を見たが、HISが安かったのと保険の意味も込めてHISで購入。

・スイスパス

現地で購入するか迷ったが安心を担保したく、レイルヨーロッパで購入。レイルヨーロッパのホームページでは現地購入はできないと記載がある(ガイドブックも同様の記述)がYahoo知恵袋では購入できるとある。たぶん購入可能と思うが、現地購入との差が大きかったらショックだから現地で確認するのはやめた。



スイスセーバーパス2等

パスの種類はいくつかあるがスイスパス(セーバー)2等が今回の旅行形態にあっていると考えた。(多頻度で利用する、登山鉄道を多く利用する等)1等か2等かの選択は「1等は席の確保の面で安心」という説明が多かったが十分座れたし比較的すいていたので不要と思った。

・電車

初日チューリヒに入り、翌日にはそのままローマ。よってイタリア分は自前で入手を(レイルヨーロッパ)試みようとしたができない。問い合わせしたらイタリアのダイヤ改正が5月連休明けとのことで購入不可といわれ、自力購入を断念。しかもレイルヨーロッパでの購入よりHISで購入するほうが安い(HISもレイルヨーロッパから購入と思われるが付帯費用が安い)よ

うなのでHISでチューリヒ～ローマ、ローマ～ベネチア、ベネチア～ミラノを購入。

ミラノ～ティラーノ(スイス・イタリアの国境駅)のみ現地購入とした。(扱っていないとのこと)

・美術館

バチカン美術館をネット予約、クレジット決済のつもりが現地支払いの予約バウチャーとなっている。予約ミスの懸念を持ちつつ当日は長蛇の列を横目に、すぐに入れ、チケットを購入。予約手数料4€が含まれるが安いもの、ありがたかった。

6. お金の準備

ユーロは日本調達がお得、スイスフランは現地調達がいいと聞きかじり、とはいえそれぞれ250/300を用意。外貨は前回旅行時郵便局でも扱っていることを知り、しかもスイスフランは三井住友、UFJは扱っていなかったが郵貯は扱っていた。対応も親切だった。(銀行の機械的な感じはなかった)

この現金以外はクレジットで賄うつもりでマスターとVISAを持参。

もう一つキャッシングはクレジットカードに設定しておらず、たまたま新生銀行のキャッシュカードがPLUS対応していたので、これで対応することにした。(現実に3回利用し、重宝した)

イタリアではクレジット支払いがカード処理機故障を理由にキャッシュを要求された店が2箇所あった。なんだかクレジットがいやなのかなと思わせた。スイスでもイタリアほどでないにせよキャッシュオンリーと言われる店があり、スイスフランは少額の現金しか持ち合わせていないため、カード支払いを確認しつつ買っていたが忘れてキャッシュオンリーの店で食事してどきりとしたこともあった。(旅の中盤以降財布の中はずっと100CHF以下)

まあ取り敢えずスイスはクレジットがあればほぼOKではありました。

半分位の店がクレジット処理の際、日本円かスイスフランかを選択させます。この方面にうとい私は根拠もなく現地通貨払いが得と決め込ん

でいましたが、後でネットで確認したらどちらでも大差なし？あるいは日本円選択ならその時点で日本円が確定するのでいいとか…すべての店が選択させないのは何故か？(レイトの変動で有利不利が変わるからあえて選択させない？)

7. インターネットと携帯電話

ホテルにより形態は様々だが、14のホテルのうちネット環境がなかったのは1箇所のみ。あとは有料(イタリア1Wで12€)、毎日1時間無料が各一箇所、残りは無料(全て無線LAN対応)パスワードは「フロントで聞く」「ホテル案内に記載」「必要なし」などの形態があった。いずれのケースも問題なく使えたが、一箇所Yahooが立ち上がらず、Googleを立ち上げた後にYahooで入れたケースもあった。

携帯のシムはローマ駅構内で購入(20€)そのままスイスで使えた。

8. 荷物と山の装い

1ヶ月を超える長旅ながら荷物は絞込み、2人ともスーツケースは19Kg程度で収めた。その代わり、リュックは2人とも7~8Kgはあったと思う。

スーツケースには登山靴(軽登山用)、ワイン1.5L、レトルト食品を3~4日分=建前は1日分程度可とある、ハイキングのための装備(セーター、長袖シャツ、靴下、毛糸の帽子、)も含めての重量なので結構努力したと思う。

それでも結果的に、Tシャツ、下着(パンツ)、靴下、タオル/ハンカチなどは多く持ちすぎたと反省。(それぞれ3枚で十分)

山関係では毛糸の帽子・マフラーは不要だっ

た。杖は現地人や日本人団体はほぼ100%使用。個人的には初心者コースでは不要と思う。サングラスは必須。山とは関係ないが多少の塩、コショウは必要だった。

リュックの容量は私40L、家内35Lをチェンマイで購入。ここにノートパソコン、ドイツ語辞典と書類(ガイドブック：地球の歩き方、るるぶスイス、ハイキング案内の切り抜き情報、ホテルバウチャー、ホテル地図=Google)とサンダル(機内、ホテルスリッパ兼用)ヤッケ、傘、若干の着替えなどを入れるとそこそこの重さになる。

ドイツ語辞典(ネットオークションで購入：500円)はスイスの英語の高い通用度に接し結果的に無用だった。るるぶは毎日使ったページは切り捨て、最終的には捨ててきた。

パソコンはノートでも結構重い(コードを入れて1.5Kg程度)。Ipadが欲しいと思った。

9. 食事

・朝

朝食なしのホテル3箇所は前日夕方確保したパンと牛乳、または水で済ませた。

・昼

日本産のリンゴに比べ小型のリンゴとホテルの朝食で調達したラスクの類で多くは済ませた。16時位になると猛烈に空腹感を覚えた。

旅行最終盤の予算諸費状況をみながら財布の紐をある程度ゆるめられると判断した以降、ティータイムを持ってアイスやケーキを楽しんだ。海外の広場のテーブル席でのティータイム、食事は日本ではなかなか経験できない大好きな瞬間です。



ゴルナーグラート



ベベイぶどう畑

・晩

前記したように、私はどこにいても(ハワイとチェンマイが中心)旅の序盤は財布を絞りに絞って、予算消費に目処がたって以降は少し贅沢をすることにしている。今回スイスはそれでも食事は高く、3回しか外食はできなかった。ベルンで最も贅沢(サラダ、ソーセージ、カツ?、ビール、ワイン)したら83CHF、やはり高い。



夕食についてはスーパーの買い食いで済ますつもりでいたのですが、実際は日本のような豊富な惣菜はなく、当初はCOOP、Migrosとも惣菜はみつけれず、カナッペみたいなものと袋入りカット野菜をよく食べた。旅行後半の都市部?にいてテイクアウトの店で惣菜みたいなもの(マカロニサラダ、ポテトサラダ、大根サラダ、マッシュルーム、グラタン、ソーセージ、ブロッコリー／ニンジンの炒め物など)を買い食いした。味はまあまあだけど、どこにいても同じ種類、同じ味なので変化というかバラエティーに乏しい。

COOPとMigrosは日本のマクドナルドとケンタッキーみたいに互いに競い合う形で近くに出店。大抵駅前にある。大都市は街中にもある。Migrosは酒を扱っていない?(又は軒先で別経営の酒屋あり。高い)のでビールが飲みたい私はCOOPを利用。

ビールは安いもので0.5フランから2.5程度(350CC缶)ハイネケン1.9。(乳製品、米、肉は安い印象を持った)

10. トイレ

トイレで苦労したことはあまりなかった。駅・電車内ではかならず済ませる(都市部の駅では有料もあった2CHF)、観光スポットでも寄る。いざという場合は広場のカフェで飲み物を注文

して利用。(多くは店舗内地下にある)スーパー内トイレはあまり目にしなかった。

11. 物価 単位: CHF (スイスフラン)

駅構内(キオスク他)は高く、水3.5(500CC)、サンドイッチ5、コーラ3.5。スーパーは水1位から/L、牛乳1.7/L、米2.2、ポテト2.8、ニンジン2.7、りんご3.4以上はkgあたり。自炊をしていないのであまり参考になりませんね。

12. 健康

いつごろからか、私の足の指がつる症状が頻繁に出だした。冷静に考えてみたら水分不足(ビールは十分)と思い当たった(毎日550ccペットボトル半分程度で足りていた)水を意識して飲みだしたら治った。家内はギックリ腰の症状が出て、一日ホテルで静養、翌日以降問題なく行動できた。これ以外はふたりとも疲れ(リュックで背中が疲れる)はあるものの、快食、快眠で元気。

13. 交通機関

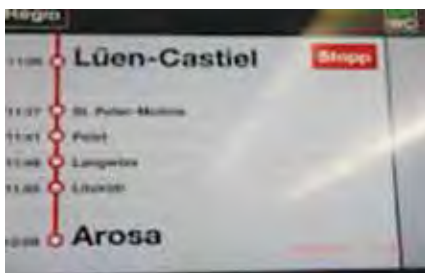
・電車

ある日、空いていれば1等車にも乗れるらしいと感じた。2等車で座れずにいたら車掌が1等に行けという。そこから時々1等に座った(シートが豪華)。2等用のパスを見せても何も言われず、一度だけここは1等席ですよと言われたが、それ以上の沙汰はなし。席に予約がはいっていないからいいみたい。1等、2等表示は車両横に、リザーブ(団体席らしい)表示にも要注意。時刻表は駅、ホームの各所に掲示されている(黄色い紙)これがとても見やすい。時間毎の掲載なので、今自分が乗りたい時刻のところをみてそこで行きたい方面・場所の時刻をさがせばいい。(例: 今16時20分=、16時のブロックを見て乗りたい方面行き電車は何分発・何番線かを把握)山岳方面の電車にはテーブル(または窓際の物置スペース)にその列車の所管の鉄道路線図がプリントされている。これを見ていると今どこを走っている、とか目的地への行き方などが分かって楽しい。

このサービス、ベルン以降北部、北西部の電車では見られず、山岳地帯のサービスと思われる。

電車のアナウンスはまったくもって簡単。発車案内なし、次の駅と乗り換え案内が若干？よって静か。

日本を発つときの不安の一つに駅毎に駅名表示はあるのか？ありました。だから今どこを走っているということがわかり不安は解消されました。また車両によっては、車内電光表示で次の駅あるいはこの先の駅の表示、到着時間、乗り継ぎダイヤ表示もありました。



・船

スイスパスで利用OK。気軽に乗れて、船独特の旅情みたいなものが味わえ、気分転換にもなりうれしかった。ブリエンツ湖、レマン湖、などで楽しみました。

・バス

バスポストバスはもちろん、都市部のバス、田舎の独立系バスなどに乗りました。全てパスOKでした。ポストバスのホーンは本に書かれていたように旅情あふれる音色で満足、フルカ峠(あいにくの雨で、翌日反対側から再トライ)は日程的にフルカ鉄道営業開始日に間に合わず、バスでトライ。なかなかの難所でした。(バスの中はWiFiがOKでした 試してはいませんが)



路線によって追加料金が必要なケースがあると聞いていましたがフルカ峠では初日は6フラ

ン、翌日は30。全然値段が違う、私の会話力では理由を聞くこともできず(たぶんバスの運ちゃんも同様?)、払ってしまいました。なんだろう…。バスでの乗車券チェックはほぼ皆無でした。(除くポストバス：乗車は全て前からだから)

都市部のバスはホテルに帰る時に活用。ホテル方面のバスの路線No.をホテルに確認または自分たちでチェック。

14. トラブル

・大きなトラブル

初日、やっとの思いでチューリヒに到着、でもスーツケースが出てこない、やがてあきらめ、すぐそばにあるロストバゲージの窓口へ。申請書類作成。原因はコペンハーゲンのギリギリ乗り継ぎ(走った!)で荷物の積み遅れか?(機内のりこみ直後、荷物大丈夫?の家内の心配的中)

「ひょっとしたら今夜ホテルに届けられる」と言われ、翌日朝ローマに移動の私たちには是非とも思いもむなしく。ローマでも今夜届くと言われて3日間、届かず。(連日ホテルから確認してもらい&私もメールで問い合わせ)。4日目の24日、明日はイタリア内の電車、バス、地下鉄のストと張り紙。シエナにいく予定をあきらめ、スーツケース確保に専念を決心。4時AM日本HISにローマ支店の紹介を依頼。(エアチケットを買っていてよかったと心底思った)。ローマHIS確認の結果、「ローマ空港には届いている」「客先に届けることはない」とこれまで聞いてる話と違う、そしてHISのアドバイスは「空港に自ら取りに行く」。HISに空港内の道順を教えてもらいテルミニから空港駅まで56€の電車賃を払って出かけ(スイスパスは6月28以降有効のため使わず)、無事取り戻した！HIS曰く「航空会社に荷物を届ける責任はない、重要なものは手持ち」

実際に取りに行ったらスーツケース預りの現場をみると受託会社1社で10数社分のロストバゲージをハンドリング。これでは客先に届けるなんてありえないと納得。(帰国後、電車代は損保ジャパンに請求できた)

他にローマではスリの2人組みに囲まれバッグをあけられるし、同じ日2時間後には夕食の場所を探しにうろうろしていたら偽警官(パトカー)が警察手帳?を示しながら職質「どこから来た?」「前方で止まれ!」偽警官の話は知っていたので無視して引き返しました。当然追って来ませんでした。ローマは怖い。私たちも余程スキありだったのでしょう。

・軽目のトラブル

ロープウェイ中間駅で間違えて下山方向の箱にのってしまい40分のロス、ひとつ下の中間駅で再び上に。(係員追認OK)

妻がパスポートとエアチケットを手荷物検査場でBoxから取り忘れる。

中部空港からの帰りのバス車内に私がサイフと家・車のキーが入ったウェストポーチを忘れる。

スーツケースがないためにカメラが充電できず、4日目の昼以降丸一日写真が撮れなかった。

15. よかったあ…こと

アインシュタインの家はガイドブックでは知ってましたが、ベルンの街中を歩いてる最中は忘れていました。時計塔を過ぎたあたりで人だかり、仰ぎ見るとどこかで見た顔の写真。妻がアインシュタインの家ではと。世紀の論文が書かれた、新婚を過ごした家。こういう出会いも悪くないなと思いました。

・温泉

ロイカーバートで村営の温泉入浴を体験。天気は上々、若干ぬるめ(サウナ室は熱い湯船の中)のプールみたいな風呂に老若男女が思い思いのスタイルでつかっていました。ロッカーの使い方がわからなくておろおろしたことを除いて最高の気分でした。(カード式入場券の差し込みが必要だった。差し込み口は内側で気づけず)



村営
ブルガーバート

・交通博物館

ルツェルン駅からバスで10分、宇宙船から飛行機、電車、船、車果てはこどもの道路工事の実体験コーナーまでいろいろ。

マニアの方にはたまらないのでは。宇宙船に入ってきました。

帰りは船でルツェルン駅横の埠頭に戻る。博物館はバスで半額割引。

・時計博物館

電車でラ・ショードゥ・フォンへ。3時間位見学。からくり時計のすごいのがあった。バスで無料。

・会員の方に御招ばれ

Yさん、2晩に渡り、御馳走様でした。改めてお礼申し上げます。



16. その他

・一日のスケジュール

「家計簿」「ホテル評価」「子供たちへの“今日の一枚メール”」＝近況と実際その日の選りすぐり数枚の写真の添付、「日記」「翌日の移動ダイヤ」＝スイス国鉄SBBホームページ：発車、到着時刻、乗り換え駅、時刻、プラットホームNo.を把握、バス利用が含まれる場合、バスダイヤも表示される。夕食後の毎日の作業はきつかった。(飲んでるし)

・犬と自転車

旅行?のお共に犬。でも本当に日常的に出会いました。とても微笑ましかったです。



電車には自転車専用カーゴがあり、駅のホームに自転車が登場すること自体に驚くのに、専用カーゴまで。ロープウェイでは親子が自転車で順番待ち。どう乗るのか興味津々で見えていましたら、外に専用フックで引っ掛けていました。

サイクリングはこんな年配がと思うような(失礼!)人がやってましたし、最初のトレッキングでは結構ラフな道に自転車がアラワレ心底驚きました。

・荷物の移動

スイスの荷物別送システム、「ライゼゲペック」3回ほど利用、スーツケース1個24CHF、翌々日指定送付駅で受取り可。リュックひとつで歩きたいケースで活用。3泊程度ならリュックに必要分詰め込んで…。でも詰め込みすぎてリュックが重くなって負担大にも。状況に応じて使い分けが必要。私は移動日で移動先の地理が明確で駅の近くだったらスーツケースは引いていきました。

なんだかんだといっても手元にあれば便利、リュックも軽くなる

・団体さん

ツエルマットは日本人だらけの評判どおり、それに比べグリンデルワルトは以外に多くなかった。ベルン、ローザンヌもちらほら。基本的に山+特別列車(氷河特急など)に観光客は集中。中国&インドの方はどこも多く、よくニーハオと声をかけられた。(もちろん日本人かと、よく聞かれたので中国人に間違えられたわけではない!と思う)

・チューリヒ空港チェックイン(帰国時)

完全にセルフチェックイン。航空券は当然でスーツケースのタグも出てくる。うろたえ「出来ねえ…」とつぶやいて係の人にやってもらいました。あとはカウンター(バゲージドロップと書いてあった?)に行ってスーツケースを預けるだけ。回りの人も結構混乱していた。

・昼休み

インフォメーションやCOOPは12:00から13:30が昼休み。土産物屋も同じ。要注意です。でも全部が全部ということではないように思い

ました。

17. あとがき

バック型旅行の良さは、行く先々でその場所の説明を受け、領いたり、感心したりしてその場の印象が深まること。

もちろん食事、荷物の心配なし。

一方時間に縛られないのが個人旅行の最大のメリット。しばらくは日本国内を含めこの南国スタイル(の一つ?)で滞在型旅行、旅を楽しみたいと思っています。

なお、この旅行記はスイスにこれからと考えている方にとって観光地の情報よりも、準備や現地での対応の術が興味ポイントとであろうと思ひ、そこに重点を置き書きました。

最後に、記述内容には早とちり、浅博ゆえの間違ひがあるかもしれませんが時にご指摘いただき、軽目のものは見逃していただければ幸いです。

<参考>

費目別総費用

単位：万円

宿泊費	食費	交通費	その他	計
59	15	61	15	150

宿泊：39泊 食費：のべ39日間 交通費：航空券27、スイスバス11、イタリア電車8.5及び登山鉄道他 その他：入場料、土産

・スケジュール表

中止、日程入れ替えなど有りました。

(反省)多くても観光めぐりは1日2箇所まで。



ペナン生活に満足

ペナン支部 No.740 渡辺 亜雄

毎日楽しくまた充実した日々

2007年12月からペナン生活を始め、はや丸6年が過ぎました。週単位での生活は、週2回のゴルフ、2回のビリヤード、1回の日本語教室(家内は2回のゴルフと1回のビリヤード)です。日本への帰国は家内が気候の良い春と秋年2回、私は1回のペースです。



海が一望できる110㎡の我コンドミニアム

それでも物価は日本の1／3程度

マレーシア(特にペナン)は経済発展が著しく、お蔭でこの6年で車が倍増、物価も20～30%は上がっているのではないのでしょうか。昨年が円高だったせいか我々日本人にとっては為替の変化による物価上昇とでダブルで効いてきます。それでも日本に比べて物価は安く嬉しいですね。

中華料理は本当に美味しい

私たちの食事は朝・昼は殆ど自宅でとりますが夜は外食が多く、週の内約8割が外食です。ご存知のようにペナンは中国系マレーシア人が60%を超えるため、美味しい中華料理に事欠きません。中華ばかりでも飽きが来ますが、インド料理、イタリアン、洋食、日本料理、どんな料理にも不自由しません。また、どの料理も流石「食の街ペナン」と言われるように大変美味しいです。

ペナンで日本語を教える

私は退職したら海外でボランティアで日本語を教えたいという希望をもっていましたので、現役時代に日本語教師の資格をとり今ペナンで教えています。これは同時にマレーシアでお世話になっている恩返しのつもりでもあります。一頃生徒の数が8人まで集まりましたが、今は僅か2人だけになりました。近々もう1クラス増やす計画でいます。授業料や教材費は取りませんが、教室は生徒に提供してもらい、プリントのインク代が大変なのでインク代ももらっています。しかし、ボランティアとはいえ一度始めれば義務感も発生しますし責任も感じます。教えていて最大の悩みは生徒個人にレベルの差が出てくることです。2年も教えていると早い生徒と遅い生徒がハッキリ別れ、早く教えると遅い生徒がついていけず脱落しますし、遅くすれば早い生徒に飽きがきます。それでも程度の差はあれ、生徒たちが日を増す毎に日本語を上達していくのが教える最大の喜びです。また英語で教えているため、私自身の英語力もブラッシュアップでき「一石二鳥」です。

ご存知Air Asiaはマレーシア生まれ

このため、KLやペナンから国内外に安い航空運賃で旅ができます。友人と年2回くらいは国内旅行や、近隣の国へ出かけます。これも日



世界最大の蓮池(Thailand, Thale Noi)

本には享受できない特典です。会員のM氏は旅行目的だけのためにペナンからフライトに便利なKLに引っ越したほどです。

ペナンの魅力はまだあります

温暖な気候に治安の良さ、病院などの生活インフラが充実しています。家内は日本では高血圧と喘息に悩まされていましたが、温暖な気候のせいでペナンに来てかなり改善されました。

青い空と青い海ならどこにでもあります。ペナンはそれに加えて『大都会』です。ペナンのロングステイヤーのほとんどが夫婦連れです。男はゴルフでもやっていればそれだけでいいのですが女性はそういう訳にもいきません。ショッピングや、ちょっとお洒落なお店で「お茶」もしたいでしょう。また、お国柄「マッサージ」の店も多く安いです。そういった意味でペナンは女性にとっても天国です。

先ほど物価が日本の1/3程度と書きましたが、特に光熱費の安さは驚くばかりです。我が家の電気代は約2,000円／月、ガス代は約120円／月、水道代に至っては約75円／月です。これはマレ

ーシアが石油とLNGの産出国(国内消費に限らず輸出国)だからです。

私たちが住むコンドミニアムは高台にあり、自家用車があると行動範囲が広がることも併せて便利です。MM2H(ロングステイビザ)を取得すると日本から無税で車を輸入できます。産油国であるため、ガソリンはアジアのどの国よりやすく約60円／Lです。

ペナンでの友人関係

現在私たちがお世話になっている友達は「南の会の会員」と「ゴルフ仲間」に大別できます。

もちろん南の会会員ともゴルフもしますが、食事会を頻繁にしています。どちらも「南国で楽しく余生を」という共通の目的を持っているので理屈は要りません。すぐに友達になります。誰もが歳より若く見えますし、健康です。私達も健康なうちはペナンにお世話になろうと思っています。

老け込みたくない方は是非ペナンへお越しください。 終わり

~~~~~



# 男3人、ベトナム縦断の旅

関東甲信越支部 No.1075 三上 英司

## 序

昨年2月、チェンマイ滞在中に会員のIさんを含め男3人でベトナム縦断15日間の旅を体験。ホーチミンからハノイの距離は1800km超で日本の鹿児島市ー青森市に匹敵する。ハロン湾など主な観光地の世界遺産や史跡巡りなどを満喫し、毎日ビールや名物料理を嗜んでも、総経費は約11万円なり。

帰国後、大手旅行会社のパンフレットを見ると、7日間程度のベトナム縦断ツアーでは20万円前後はあたりまえ。予想を遥かに超えた素晴らしさで超格安の旅となったので、旅の概要や格安となったコツなどを紹介いたします。

## 1 概要

①期間 平成25年2月23日から

3月9日まで15日間

②主な経路

・チェンマイからバンコク経由

ホーチミンへ飛行機で移動

ホーチミン 3泊 夜行バスで移動

ニャチャン 1泊 夜行バスで移動

ホイアン 2泊 バスで移動

フエ 2泊 夜行バスで移動

ハノイ 3泊

(ハロン湾 1泊クルージングを含む)

・ハノイからバンコク経由

チェンマイへ飛行機で移動

③費用概算 約11万円

内訳

飛行機代 3万4千円

バス代 5千円

ホテル代 1万2千円(11泊)

観光ツアー 2万5千円(4回)

その他滞在費 3万4千円

(飲食代、入場料、お土産など)

(1\$=2万ドン=100円で換算)

## 2 ホテル

ホテル代が非常に安く11泊で約1万2千円なり。出発前に予約したホテルはホーチミンのみで、滞在中に次の滞在地のホテルを予約。格安海外ホテル予約サイトの「アゴダ」を活用し、料金1泊2千円、ホテルランクを3つ星などで検索。各都市とも登録ホテル数が多いので、立地地区を入れるとかなり絞り込まれる。候補ホテルの最後のページにはさらにお得な情報もあるので、じっくり時間をかけるのがコツ。利用した5か所のホテルは、いずれも小規模だがほとんどが朝食付きで1泊一人当たり1,200円程度。繁華街に近くバス利用には大変便利で、アメニティは日本の平均的なビジネスホテル並みで申し分なし。

## 3 飛行機の予約。

当初、ビザの関係でチェンマイ出発は2月中旬を想定。チェンマイからハノイに向かいハノイからバスでホーチミンへ南下するつもりであった。

だが、中国の旧正月(去年は2月10日)の影響で、飛行機料金が高額で席がないことが判明し、計画を練り直すことに。

3人がそれぞれ「tavii.com」サイトの「格安航空ルート検索」を活用し、エアアジア航空を利用し2月23日チェンマイ発バンコク経由でホーチミンへ向かい、そこからハノイへバスで北上するルートが最安と判明。

フライトを予約できたのは1月下旬。チェンマイからホーチミン迄は約1万6千円。また帰路は3月9日発ハノイからバンコク迄が約1万2千円。また、バンコクからチェンマイまでの交通機関は未定であったが、帰路のバンコク空港で比較調査の結果、オリエント航空が約6千円と最安なので利用することに。

なお、荷物の機内預けをしないと更に安くなり、クレジットカードの種類によっても金額が違うことを後日知る。

## 4 バスの利用

ベトナム縦断の旅は、鉄道かバスの利用が一般的のようだが、鉄道は本数が極めて少なく、バスは本数も多く安くて便利。特に夜行バスはホテル代と移動時間の短縮となるので多いに活用することに。バス切符はホーチミンからフエまで(約3千円)とフエからハノイまで(約2千円)の2区間に分けて購入。なお、座席指定料金や寝台料金の加算はなし。

車両は日本のバスと違い、2階建て、3列座席、7人用シートで完全にフラット。どのバスも老若男女の観光客でほぼ満員状態。いずれも欧米人など我らと同様バックパッカーで女性が多いのには驚く。車両はきれいだが、トイレなしもあるので注意を要する。また、案内はほとんどなく、ターミナルや停留所は分かりにくいので、不明な点は個別に乗務員に聞く必要がある。

特にバス会社が多いので予約チケットで確認する事が大事。夜行バスを快適に過ごすコツは、お酒で酔っぱらってから乗車すること。ビールは当然ダメ。

## 5 ベトナムの各地

### ①ホーチミン

ホーチミンはベトナム経済の中心地で、繁華街のトンコイ通り界限には多くの観光スポットや雑貨店、飲食店などが集中している。各種レストランは欧米系の観光客などで夜遅くまで大賑わい。バイクの数と、交差点の信号機が極めて少ないことに驚く。

マップを片手に観光名所のベントイン市場、旧大統領官邸の統一会堂、サイゴン大教会、チョロン地区チャイナタウンなどを散策。特に中央郵便局は、19世紀末のフランス統治時代の建物で天井や窓ガラス模様が印象的。また、ベトナム戦争証跡博物館は、ベトナムの視点からの展示なのでとても興味深い。

メコンデルタツアーに参加したが、参加者は我らグループ3人のみで、夕食は屋外の広大なレストランを貸切状態に。綺麗な夕陽を期待したが、曇り空のため見られず。ベトナム



メコンデルタツアー

ム戦争当時のベトコンの秘密トンネル壕「クチ・タイニン」ツアーを見逃したことは悔やまれる。

ホテルはドンコイ通りやベントイン市場、さらに旅行代理店からも近くて便利。洒落た雰囲気です。一人当たり1泊朝食付きで約1,200円なり。

### ②ニャチャン

ニャチャンはベトナムのほぼ中部に立地し、ホーチミンから夜行バスで約8時間。ここはビーチリゾートとして欧米などのバカンス客で賑わっている。ヤシ並木の遊歩道や綺麗な砂浜が続き、デッキチェアに水着姿が多いのでヨーロッパの避暑地のような風景。体感気温は約35度程度でかなり暑く、我らもデッキチェアでのんびり休養や水浴び。ホーチミンの喧噪やチェンマイの疲れ、寒い日本を忘れさせる天国だ。



市内から送迎バスで約20分の泥温泉は穴場。メインは茶色の暖かい泥のたまった露天風呂。暖かい温泉やプールも数種類あるリゾート

ート施で、無料の水着やタオルもあり、すべて込みで約1,300円程度。

ホテルはビーチに至近距離で、部屋は広く3ベット、シャワーやWiFiもあり料金は1泊約1,900円。何と一人当たりは約600円なり。朝食なしだが、すぐ近くに手頃な海鮮レストランもあるので、超お徳。

### ③ホイアン

ホイアンはベトナム中部に立地しニャチャンからバスで約3時間。古くから交易の中心地として栄えた当時の街並みが残り、世界遺産にも登録されている。日本人にも馴染み深く、江戸時代以前に朱印船貿易港としても栄え、日本人が建造した「日本橋」界隈は日本人町の名残を感じさせる。川沿いの夜景は灯籠流しなど幻想的で、様々な雑貨店やレストランなどが立ち並ぶ通りは、多の観光客で賑わっている。

ここもかなり暑く、貸自転車を活用し近くのビーチまで足を延ばす。

また、世界遺産にも登録されているミーソン遺跡群観光の拠点でもある。ミーソン遺跡は、2～15世紀にかけてベトナム中部で栄えたチャンパ王朝時代の聖地跡。ベトナム戦争でかなり破壊されたが、赤レンガ作りのヒンズー教の神々の石像などはまだ多数が残っている。観光ツアーのガイドの説明は印象的で、ボートツアーと昼食付きで約1,900円なり。

ホテルは中心部から少し離れていたが、朝食付き1泊一人当たり1,200円で申し分なし。

### ④フエ

フエはニャチャンからバスで約3時間ほど北にあり、17世紀から20世紀中頃まで続いたグエン王朝の都で世界遺産にも登録されている。フエの観光は、ホテルと交渉の結果、自転車のツアーとなり、ガイドが3台を先導することに。ベトナム戦争でほとんど破壊されたが、復興工事も進んでいる。王宮群は外濠が約3～4km四方の城壁に囲まれ、内堀もかなり広く種々の建造物があるので、半分程度しか観ることができず。貸自転車、ガイド料込みで一人当たり約1,500円程度とかなり格安。

フエ滞在中は生憎の雨が続き、体感気温は約23度前後と肌寒いくらいで長袖シャツは役に立った。

ホテルは建物や室内も洒落た雰囲気だが、室内でWiFiが使えない状態が続き、ホテル予約はかなり難儀した。たっぷりの朝食も付き、一人当たり1泊約千円なので、十分満足なり。

### ⑤ハノイ

フエからハノイへは夜行バスで約11時間の長旅となり、中心部の繁華街に近いホテルに9時頃に到着。

ホテルのフロントで相談した際、当初想定したハロン湾日帰りツアーではほんの一部しか見られないことが判明。ホテル1泊分のキャンセル料なしの条件で宿泊ツアーを申し込む。4食付で一人当たり約1万5千円で、日帰りツアーは約7,000円なり。

予約後、マップ片手に市内を散策。ハノイは11世紀から長い歴史を持つ古都だけあって、中国風の旧市街とロシア、フランス風の建物が混在する不思議な景色が続く。首都だけあってバイクや乗用車が多く、通りも賑やか。中心部のホアンキエム湖にある小さな島からハノイ大教会へ。午後からはホーチミン廟、ホーチミン博物館、軍事博物館などへ。ベトナム戦争のさまざまな写真や資料、ビデオ映像など、ベトナムの歴史や建国の祖ホーチミン氏について改めて知ることになった。

ホテルの朝食は質素だが、一人当たり1泊約1,200円なので納得。



ハノイで乾杯

## ⑥ハロン湾

ハロン湾はハノイから北へバスで約3時間、ベトナム随一の景勝地で中国南部の桂林に似ていることから「海の桂林」とも呼ばれている。山水画のような風光明媚な風景が広がり世界遺産にも登録されている。大小約2千もの島があり、巨大な洞窟で大きな鍾乳石が無数にある島や頂上に登り湾内を展望できる島もある。頂上から見ると、数え切れない程の観光船舶が停泊し、スケールの大きさに圧倒される。夕陽に島影が織り成す光景は脳裏に深く脳裏に刻まれ、初めて乗った一人乗りカヤックボートも貴重な体験となる。



いずれの食事でも豪華で、エビなど新鮮な魚介類や肉などを堪能する。

夕食後には宿泊客30名位のうち半数ほどでカラオケパーティーを。メンバーは、豪州、スイス、英国、ドイツ、日本留学中のアメリカ人などの老若男女で、日本人は僕一人。モニター画面の曲名一覧を見て次々とリクエストがあり、みんなで歌うので昔の歌声喫茶店の雰囲気。ビートルズやサイモン＆ガーファングル、フランクシナトラなどは特に盛り上がった。

翌日には自己紹介や旅の情報交換、記念撮影などですっかり打ち解け、「カラオケで民間外交」と自己満足する。

## 6 その他

①服装は基本的にバックパッカースタイルで半袖シャツに長ズボン、カジュアルシューズ。荷物は大きなリュック1つと中くらいの

のセカンドバック。所持品はできるだけ少なくしたが、パソコンと携帯電話を各自が持つことに。下痢止めは必須、長袖シャツや水着も必要。

②ベトナム通貨のゼロの多さには馴染めず、金銭感覚が麻痺する。1万円札を両替すると約2,200,000ドン、缶ビール20,000ドン、貸自転車40,000ドン、入場料80,000ドンなど。分かりやすいのは、万ドンを半分にすると米ドルに換算すること。つまり、2万ドンで\$1ドル、100円なり。

③食事は、観光客向けの立派なレストランでなく、ホテルお奨めの店や現地人や外国人などで賑わっている店を利用。代表的なベトナム料理のフォーは、日本のうどんと似て薄味でさっぱりしている。肉や魚介類、野菜などの具がたっぷり入り、スープなしやスープ入りなど種類は多いようだ。餃子や揚げワンタンなどは日本人の味覚にぴったり。

④ベトナム縦断の合理的なルートは、今回のようにチェンマイからの往復でなく、チェンマイからホーチミンに向かい、そこから北進しハノイから日本へ帰国であろう。だが、ベトナムと日本の間には格安航空会社が就航していないので今回のルートとなった。旅行の相談は、チェンマイ・ニマンヘンミン地区の「InfoQC」を、ベトナムのバスチケットや観光ツアーの手配などはホーチミン・デナム通りの「TNK&APTトラベル」には日本人スタッフもいるのでお勧め。また、「ドンコイ通りを歩こうMAP」と「ハノイマップ」は無料の日本語情報誌でとても役に立つ。

## 7 おわりに

今回の旅でホテル代や交通費などの経費が破格の安さとなったのは、検索サイトで時間をかけて十分吟味したこと。また3ベットも利用し、観光ツアーも日本語でなく英語ガイドとしたり、貸自転車を活用することも要因かな。

悔やまれるのは、同行者がスマホをバイクで

ひったくられたこと。ホテル従業員の協力を得て現地警察に届け、日本の携帯電話会社へ連絡をとるなどして、被害を最小限に留めたことを後日知る。

今回の旅にあたり、僕の勝手な行動を許容していただいた同行の仲間に大変感謝しております。また多くの友人からアドバイスなどを頂きまして、どうも有難うございます。

## 秋を満喫！栗拾いと合宿サロン会

九州支部 No.581 朝永 美代子

### ○はじめに

九州支部では定例の情報交換会を1年に4回計画していますが、そのほかに会員からの要望やお誘い、ネット上でのトクトク情報入手等に随時サロン会を企画し、皆さんへ呼びかけています。



お誘いサロン会(?)の始まりは、退職後に蕎麦名人を志し、今ではすっかり本物の名人になられた深松会員の呼びかけで開催された「蕎麦打ち体験試食会」だったように思います。もうそれから7年が過ぎましたが、その前後から「集まろうよ」との機運が高まり、今では情報交換会を含めると1年に10回ほどの集会を開催しています。

九州のサロン会の特徴は、会員のご厚意によるお誘い、グルポンなどの格安クーポン利用の提案、忘年会は旅行を兼ねて九州エリアの端々から順に巡る、などで宿泊を伴うものも多いのですが、費用的にはかなりリーズナブルに楽しんでいます。

会員のご厚意に甘えてのサロン会の一つ、もう毎年恒例となった「栗拾い&ゴルフサロン会」についてご紹介します。

### ○J A南の会九州支部？

栗畑オーナーである守田会員が南の会に入会されたのが4年前の4月、その年の秋から早速栗拾い体験のお誘いを受け、それ以来毎年秋の味覚狩りを楽しませてもらっています。

場所は熊本市内から30分ほどのところで、広々とした田園風景を抜けて、ご自宅から5分くらい上がった裏山風のところに24本の栗の大きな木が並ぶ栗畑があります。

栗の収穫時期はその年の天候により左右されるそうで、直前にならないければ収穫に最適な日はわからないようですが、私たちのように、九州全域にわたる支部の皆さんへご案内するには、宿泊の予約もあり、少なくとも1か月以上も前から日程を決めねばなりません。そのことがいつも守田会員を悩ませています。

私たちの背丈より低い木に鈴なりに下がったキウイ畑のトンネルを背をかかめながら潜り抜けると、熟して褐色に輝いている大きな栗のイガイガが一面に落ちている畑につきます。前日に守田会員が落としてくださっていて、拾うばかりになっています。

ゴム手袋に長靴姿、火はさみで栗を拾い、一か所に集めますが、中かがみの作業が足腰にこたえるほどのすごい量です。集めた栗は長靴の底で上手にふんづけていがいがを剥ぎます。

1年目はもたもたしましたが、役割分担が自然に出来て、もうみなさんベテランの域に達し



たようです。剥いだいがいがは片っ端から燃やし、帰るまでに灰にしまいます。

途中で火の中に放り込んだ焼き栗のおいしいこと。ぱーんとはじけて、黒こげになって、なかなか経験できない楽しさです。作業は毎年10人前後で約2時間ほどかかり、全部で70kg前後の栗を収穫します。ゴルフ組さんにも分けて、一世帯5kg入りくらいの大きな袋をもらって帰ります。

栗拾い作業中の楽しみがおしゃべりと木の下でいただくお弁当。お料理自慢の守田夫人は、にわかにセットした飯台に並びきれないくらいのごちそうを準備してくださいました。デザートまでてんこ盛り、お店では買えない本物の味。いつも申し訳ないと思いながらもお腹一杯いただいています。至福のひと時です。今年はまた中島会員が長崎からかき氷製造機まで持ち込んで、この自然に囲まれた栗畑でかきたての氷をいただきました。なんでもするグループだと思いませんか？誰かが「JA南の会、九州支部だー」と叫んでいました。



また4年目の今年はバーベキューを取りやめて、夕食は料理を頼みました。バーベキューは買い出しから食べるまで女性陣に負担がかかりすぎて、折角温泉に来ているのにゆっくり露天風呂を楽しむことができなかったのも、男性陣からもバーベキューは止めようとの声が出ていました。そこで時間の余裕ができた分、今年は守田夫人に講師を依頼して料理教室を開催しました。とにかく夫人が作る大福が一流で、みんなが作り方を習いたかったのです。でっかい栗

の甘煮を丸ごと入れた栗大福の実習、簡単よって言われてたけど、なんの何のやっぱり達人の技がたくさん隠されていました。材料だってお店限定なんですから。熊本名物の朝鮮餡も本家のものよりおいしかったです。守田夫人はまだ足のケガのリハビリ中でご不自由な身だったにもかかわらず、丁寧に指導してくださいました。感謝感謝です。鹿児島組は帰路に材料店に立ち寄り、調達して、たぶん家で挑戦したことと思います。

### ○バーベキューから宴会へ

この栗拾いサロン会は当初からゴルフと合宿をセットで企画しています。1年目は参加予定者全員で3回のスカイプ会議を開催し、最終的にバーベキューと宿泊を守田会員の邸宅でお世話になることに決めました。参加者が18人、皆さん寝袋持参ということにしていたましたが、守田ご夫妻は前日から布団を干したり、大きな台を並べてバーベキューのセットを準備したりと「おおごと」されていました。とても大変なことをお願いしたのだと後悔しても後の祭り、でしたね。小雨模様だったので、3台の大きなコンロは広い車庫の中。肉の塊や飛び入りのご近所さんが差し入れたカニなど、炭火の煙をもうもうと上げながら豪快にいただきました。翌朝は蕎麦名人の深松会員がわざわざ材料まで持参して手打ちそばの実演、新米のおにぎりセットでこれもまた贅沢な朝食でした。

2年目はバーベキューもできる隣の温泉施設を借りることにしました。ここにはログハウス4軒分が入った集合棟があり、ここを借り切れば広いホールを誰に遠慮することなく使わせてもらえます。温泉に入ってバーベキューを楽しんだ後は、持ち込んだカラオケセットをガンガン鳴らしながら、夜が更けるまで大騒ぎです。皆さん芸達者で、衣装まで準備して、得意芸を次々に披露されます。大爆笑の渦の中で夜が更けるのも忘れてしまいます。

私たちの集会にはもってこいの会場なので、毎年早くから集合棟の仮押さえをします。ラッキーなことに3年目も4年目も同じこの集合棟



### 元気になるなる 南国暮らし

を予約確保することができました。

そして4年目の今年は替え歌まで完成。みんな自分たち独自の歌を歌えたらいいな、と急に思いついて、すでにあった替え歌を参考に、サロン会の楽しさをそのまんま歌詞にしてみました。当日参加できないカラオケの先生の瀬崎会員に出来上がった歌詞を送り、歌ってもらってパソコンに保存しました。それを当日みんなに聞いてもらい、そのあとカラオケに合わせて大合唱をしました。プロジェクターももちろん持ち込みです。字余り、字足らずもなんのその、みんな合わせて歌ってくださって、とてもうれしかったです。

サロン会の様子はホームページに残していますのでもしよかったらご覧ください。

<http://s6.kcn-tv.ne.jp/users/saron3/>

### ○楽しく仲良く

九州支部の活動は、できるだけお金をかけないで楽しもうと、まさに年金生活者にやさしい活動、を目指しています。

年4回の情報交換会の会場はNPO法人で登録して施設使用料は無料、参加費は懇親会の実費だけです。

その他のサロン会は、会員の自宅に泊まったり、特別イベントに参加させてもらったり、住民であることの特権利用で施設利用等を交渉してもらったり、会員のご厚意に甘えることがとても多いのです。

ゴルフや一泊旅行などは、ネット情報での格安クーポンを見つけ、掘り出し物が出たときは飛びついてみんなに紹介します。予期しない時

に突然ですから、驚かれる会員も多いことでしょう。

でも、参加も不参加も自由、無理しない、迷惑をかけない、縛りがないがもう一つの支部のモットーですから、提案も気軽にできます。

ちなみにこれまでの格安クーポン利用でこれはよかったと思うものは

「周防大島忘年会」……23年12月

1泊2食付3,700円

ハワイ州カウアイ島の民家をモデルにした別荘風ログハウス「グリーンスティナがうら」で、嘘のようなクーポン。皆さんに案内して当日のうちに31名から申し込みがありました。山口県の一歩はずれ、にも関わらずで最高のサロン会が楽しめたようです(私は無念の不参加)。

「阿蘇ゴルフサロン会」……25年2月

1泊3食付ゴルフパック8,800円。



### ○最後に

外国暮らしに興味を持つ会員が、その実現のためにいろいろな情報を交換するということ、に合わせて、リタイア後、さらにはロングステ



イ後の、まだまだ長い時間を共に楽しめる仲間づくり、そして絆を深めるというのが南の会のめざすところだと思っています。

ロングステイしたくてもいろいろな事情で行けなかったり、ロングステイを終えて、日本にとどまるようになった時にも、国内で交流を続

け、いつまでもみんなで語り合える場があるということは素晴らしいことだと思います。同じ方向を向いた気の合う仲間がいるということで安心して年齢も重ねていける、そういう南の会としての発展を願っています。

## Our longstay in Perth

関東甲信越支部 No.1225 高橋眞治・順子



キングスパークから見たパース市内

「世界で一番美しい街、一番住んでみたい街」パースは主人が定年後に、2人でロングステイしたいと思っていました。

初めての訪問は空港で借りたレンタカーで市内に向かい、早朝、予約を入れていないにもかかわらずモテル(キッチン付)のスタッフは暖かく迎えて下さいました。

パースシティはスワンリバーと高層ビルが調和し、郊外は広々とした緑豊かな牧草地、真っ青な空とインド洋沿いのビーチと多くのゴルフ場があります。

また、オーストラリア(AU)は南半球ですから、日本の夏がパースの冬です。朝晩はヒーターを入れるほどに肌寒いですが、日本の蒸し暑さを避ける事ができます。これで私達はパースにはまってしまいました。

毎年7月中旬から9月下旬まで、気がつけば今回で6回目になりましたので、パースの情報をお伝えします。

### <ゴルフ>

私達は共通の趣味として2人でゴルフを始めました。私は1日置きで充分なのですが、主人は混雑している週末以外、晴れている時は毎日ゴルフをしたいので、1人で出かける時もあります。1人でもプレーOKなのがAUのよいところです。通常18ホールスループレー、キャディはいません。年々ゴルフ人口が増えています。

車で30分以内にパブリックGC(18H,\$20~\$30)が多数あり、予約しなくてもOKですから、その日の気分で自由に行動できます。パブリックGCの乗用カートは少なく料金は高いので、健康のため手引きカートで約4時間歩いています。

また、プライベートGC、リゾートGCなどのチャンピオンコースはホームページをこまめにチェックしますと要予約ですが、曜日によってはカート込で安く(\$50~\$90)プレーできる日があります。午後からのTwilight料金の設定があるところもあります。



いつものゴルフ場にて

「WA Golf Voucher」\$34.95を購入しますと、ほとんどのゴルフ場を割引きで利用できるクーポン券がついています。

### <気候>

パースの冬は日本の10月、11月の気候です。日中の気温は18℃～22℃位、日差しは強いですがゴルフには気持ちいいです。天気予報は1日のうちで晴れ、曇り、雨マークがあり、変わりやすい天気が続きますので、晴れていても時々雨が降る時があります。

私達はパースの冬のみの滞在ですので確かめてはいませんが、真夏でも空気が乾燥しているので、木陰に入ると涼しいそうです。

### <レンタカー>

ゴルフにはレンタカーが欠かせません。オフィスへの送迎はオーナーにお願いできます。

A社…韓国製の古い車、\$140/週(保険込・免責あり)デポジット\$500(カード手数料3%)

B社…トヨタのハッチバック、\$217/週(保険込・免責あり)デポジット\$400

\*一番最初にデポジットが必要ですが、返却時、傷などがなければ全額返金されます。

### <交通ルール>

日本と同じ左側通行、右ハンドルです。交通ルールもほぼ日本と同じですが、ラウンドアウトと呼ばれるロータリーの走り方は右優先のルールがあります。

道路は広いですが、車の数が増えています。高速道路はすべて無料です。

### <無料バス>

CAT Bus(キャットバス)と呼ばれる無料循環バスが定期的に走っています。パース市内は4路線、フリーマントルは2路線です。CATとはCentral Area Transitの略です。

維持費はパースの若者が支払っている高額な税金で賄われているそうです。

### <ランチ>

ゴルフにおにぎりを作って持って行く時もありますが、「SUBWAY」という店は支店が多数あり、コッペパンのようなロングサイズのパンにチーズ・野菜・ドレッシングの他にハム・肉・ツナなどを選び、目の前で挟んでもらいます。材料によって違いはありますが、1本\$10以下ですから、半分に切ってもらい2人で充分です。これを持ってよくゴルフ場でいただきました。「KFC」のSTREETWISE Burgerはから揚げバーガーとポテトチップ、コーラのセットが\$5.95です。「Chilliz」はごはんの上から揚げがのっているなので、自分でたれをかけます。BBQ、クリスピーなどがありますが、全て\$5以下です。

### <物価>

インフレと円安が気になるところです。ガソリンは毎日変動しますが、\$140/リットル位、スーパーの物価は日本と同じ位ですが、外食は人件費が高いため高額です。

サンデーマーケットでは新鮮で安い野菜・くだものを手に入れる事ができます。

AUのお米はイマイチ、日本米は高いので、持参したコシヒカリと、魚・肉・野菜を調理した方が安くておいしいです。タスマニアサーモンの刺身(約\$4/100g)は絶品です。

### <アルコール>

ビール(350ml)2本まで、ワインはグラス2杯まででしたら、運転OKです。ビールは箱入りでしたら、1本\$1.5前後、\$10位のおいしいワインも多数あります。

夕食には時々、レストランで料理をTake Away、帰ってからゆっくりとビール・ワインと共にいただきました。

### <オージーのご夫婦>

去年まで3年続けて一軒家を4家族でそれぞれ3か月づつシェアして過ごしました。その家のお隣がオージーのとても親切なご夫婦の家に週に1～2度訪ねて行き、夕食に招かれたり招いたり、今回もランチ、ドライブに誘われた



お付き合いしているオージー夫婦と

りと楽しい時間を過ごしました。

誕生日に花束とバースデーカードをいただき、私の拙い英語でもお付き合いできました。

私達の帰国時にはいつも「We miss you both」と名残惜しんで下さるので、今でもメール、手紙のやり取りをしています。

#### <日本人>

以前は数多くの日本人が滞在されていたようですが、円高の時に家を購入し、2倍以上の値段で売却して帰国されたそうなので、シニアの日本人は少ないです。

時々ゴルフをご一緒する在住の2組の方々に招かれ、広ーいお宅(5ベッドルーム)は1部屋が広く、これが平均的な広さの家と聞き、ビックリして帰ってきました。

#### <ワイルドフラワー>

パース市内Kings ParkのWildflower Festivalでは綺麗な花たちを見る事が出来ます。

広大な大地に咲き乱れる花々は1万2000種、7月上旬に北から咲き始め、段々南下して12月中旬まで楽しめますので、ゴルフをしながら4泊5日の小旅行に出かけました。郊外へ走ると道路の両側一面に牛・羊が放牧されています。ワイルドフラワーの群生、菜の花畑に感動、車を降りて写真を撮るのを繰り返していたので、時間がかかってしまいました。

ある日、前が見えない位激しい雨が降って、やっとホテルに到着すると町中が停電、もちろん部屋の電気は使えないので、暗く寒かったです。

ホテルのレストランのゲストは何事も無かったように、ロウソクの明かりのムードを楽しんでいるようでした。夕食後やっと、電気が使えるようになり、このようなアクシデントも旅に付き物です。

#### <ワイナリー>

パースから車で約30分のSwan Valleyは30以上のワイナリーがあります。

併設のレストランでの食事は皆さんワインを堪能していましたが、私達はワインではなくFlat White(コーヒー)でガマン…主人は決してアルコールを飲んでの運転はしませんでした。4本買うと2本おまけのワイナリーがありました。

#### <中華街>

パース駅の近くのNorthbridgeには中華街があり、飲茶・カラオケなどを楽しめ、中華食材も手に入ります。

#### <シーフード>

フリーマントルのヨットハーバーの近くにはシーフードの店が何軒もあり、ビール工場に併設されたレストランもあります。出来たてのフィッシュ&チップスは美味しいです。

#### <航空会社>

カンタス航空の直行便が無くなりました。LCCのAir Asiaは羽田／関空からKL経由ですがパースに飛んでいます。帰りのパース発は早朝6時50分頃なのでチョットつらいですが、プロモーションなどを利用すると、安く購入できます。

#### <滞在先>

市内から約30分、コロニアル調の町並みが残るフリーマントルという静かな住宅地です。初めて利用のカサーニャコテージは「パース通信」を検索して見つけました。日本人とフランス人夫婦のオーナーが同じ敷地にいます。オーナー夫人のE子さんは気さくでよく気が付き、困った時など直ぐに対応して下さい、な



フリーマントル マーケット

んでも相談できます。何より日本語が通じるので楽でした。

部屋にはキッチン・トイレ・ホース付シャワー・洗濯機・インターネット・電子レンジなど、生活に必要なものは揃っています。炊飯器も用意してありましたのでご飯も炊けます。私達にとっては、心地よく快適な滞在でした。

- \*ワンベットルーム(シングルベット2台)・  
1か月以上・2名・光熱費込、\$65/泊。

- \*ツーベットルーム(シングルベット4台)・  
1か月以上・4名・光熱費込、\$95/泊
- \*携帯電話(通話料金のみ後払い)、ナビ、手引きカートは貸出無料でした。

#### <暮らすように過ごす旅>

「きょうのゴルフはどこに」と「お天気」の事だけを考える毎日でした。

どこまでも続く青い空と至る所にある広い公園、レンガ造りの家々と綺麗な庭を見ながらの散歩は、気持ちまでゆったりしてきます。

「こんなにのんびり暮らしてよいのでしょうか?」と心の中で唱えていると、「いいのです。あなた達は今まで一生懸命に働いたのですから…」と、どこからか聞こえてきました。

「あー、帰りたくな〜い。」と思いながら帰ってきました。

パスはそろそろ卒業でなく、中退しようかなあ〜。(AU\$1・約93円)

## ポルトガル&スペイン 38日間 グループ旅行

関西支部 No.1381 井藤 正治

- 期 間 2013.5.8～2013.6.14
- メンバー 591 神原リーダー・1508 安楽・  
岩田(友人)・井藤  
各ご夫婦 計8名



岩の村モンサントを背景にメンバー8名  
(安楽秀典 岩田優子 井藤友子 安楽 操 神原克收  
岩田勝弘 神原ヨシ子 井藤正治)

#### ○旅行の行程 (関空出発、機内泊～)

- ・ポルトガル  
リスボン8泊～エヴォラ～カステレ・デ・ヴァイデ～コインブラ3泊～ポルト7泊～
- ・スペイン  
サンティアゴ デ コンポステーラ2泊～オビエド～ビルバオ～ゲルニカ～マドリッド7泊～マドリッド近郊・セゴヴィア・アビラ・トレド～機内泊 ～関空着

#### ○グループ旅行の計画と現地での推進

2011年に1ヶ月間、スペイン・マラガを拠点にアンダルシア地方を観光したがこの期間ではポルトガルに行けなかった。

神原リーダーが計画、グループメンバーの意見を聞きながら航空機、宿泊先の手配を含め基本計画を立案された。



### ◎現地での推進

4家族が日替わりで翌日の時間スケジュール、観光先、交通機関、食事などを具体的に計画、当日、朝に説明、意見を纏めて担当と実施をした。

#### ・共通会計制の実施

4家族で10日間ずつ担当、必要金額及びクレジットカードで、お金を徴収、全て会計から支払う様にした。

### ◎ホテル・アパートメント

#### ・リスボン・アパート

行動するには最良の立地条件。3ベッドルームで、夫婦部屋としては十分な広さで満足。4家族での夕食会が余裕で行えた。

#### ・ホテル

各地域、観光地のバスターミナル又は列車中



ポサーダ・高級ホテル

央駅に近く、毎日の行動には最適な立地場所であった。

憧れの「ポサーダ」(古城や修道院などを改装した国営ホテル)にも泊まりました。

普通のホテル €63/一室

ポサーダ €150/一室

### ◎食事

当初はホテルで朝食、ランチ、ディナーはレストランでいただいておりますが、自然に学習し、おいしい料理を8名でシェアして食べるようになりました。

・朝食…前日に「パン」「果物」「サラダ」などを買って置き、コーヒー、飲み物で部屋食にした。

・昼食…簡便な、バールの(日本で云うご飯屋さん)な処で簡単にいただく。

・夕食…日の入りが22時ごろで、レストランが20時オープンにつき、地元の人が行く、バル兼レストランで、楽しくいただく。

食事代 予算 38日間 42万円

(朝・昼・夕ほどのレストラン代)

実績 38日間 19万円

(△23万円 大幅に削減できた。)

### ◎交通機関

・タクシー…リスボン～エヴォラ～カステレ・デ・ヴィデ～コインブラ観光と移動

2泊3日・9名乗り・ワンボックスカー料金 38,000円

・国鉄…遠距離の列車は 65歳以上シルバー料金50%で乗車出来ました。



電車・バスなど乗り物

- ・地下鉄、市電、バス、ケーブルカーは共通のプリペードを購入観光地では地図を見て、よく歩き、この乗り物を利用しました。

### ○経済的な状況

失業者と(ポルトガル18%・スペイン23%…若者49%、2人に1人が失業)スリ、置き引きがどんどん右上がりの傾向にあり、日本人の永住者にお会いする度に地下鉄、街中、人々の多い場所では特にプロのスリには気をつける様にアドバイスを受け、8名のグループでは常に注意しあって事故はなかった。

市の中心、繁華街の一等地でも不況の為、空家がいたるところにあり、ポルトなどのワイン工場までも、工場閉鎖が目立った。



繁華街一等地での空家

### ○観光

38日間の詳細内容は全て紙面に書けません。全般の観光で印象に残った事を掲載します。

#### ・天候に恵まれました

観光地のバス移動時に少し雨が降り、観光中は雲一つない晴天が続き最高でした。スペイン北部のバスク地方のみが気温が低く、上着が必要でした。

#### ・ポルトガル

リスボン・コインブラ、エヴォラ、ポルタレグレ、マルヴァオン・ポルト・ヴィアナ・ド・カステロ……ポルトガル全体の町は「赤い屋根」と「坂が多い」旧市街、世界遺産が多く、石畳の清潔な道路、歴史のある綺麗な町で、観光地ごとに、地図を見ながら徒歩での散策が楽しかった。

#### ・スペイン北部

サンティアゴ・デ・コンポステーラはエルサ



リスボン・坂だらけの街



ポルト歴史地区

レム、ローマに次ぐキリスト教3大聖地の一つで、巡礼の最終目的地であるカテドラルを目指して歩こう。

旧市街、巡礼路は世界遺産で、朝早くから巡礼者で賑わっていました。



サンティアゴ・デ・コンポステーラカテドラル

#### ・オビエド、バスク地方ビルバオ・ゲルニカ

北部で気温が低くセーター、ジャンパーを着て見学しました。

#### ・マドリッド

王宮と、広大なレティーロ公園、ティッセン美術館・プラド美術館・ソフィア王妃美術センター＝夜19時～21時まで入場料、無料になる為、夜に2回見学に行きました。



美術館めぐり

※サッカー「リアル マドリッド」本拠地スタジアムへ行きました。

ゲームがない為、外周を廻り、甲子園球場の3倍ぐらいあろうか！

「ショップ」には沢山のファンがユニホームほか、サッカー用具の購入されていました。ちなみに、我々3家族も有名選手の「背番号付きのユニホーム」と「キャップ」を買いました。

#### ・マドリッド近郊

セゴヴィア・アビラ・トレドは素晴らしい壮大な、カテドラル。ローマ時代の水道橋が残る古都アルカンタラ橋などを見学した。

#### ○旅行にかかった費用

(38日間「安楽家(2人の場合)」)

| 項 目 | 金額(¥)   | 予算(¥)     | 差額(¥)   |
|-----|---------|-----------|---------|
| 朝 食 | 10,653  | 419,000   | 227,273 |
| 昼 食 | 58,200  |           |         |
| 夕 食 | 90,687  |           |         |
| 食 材 | 32,187  |           |         |
| 交通費 | 83,547  | 132,000   | 48,453  |
| 観光費 | 84,328  | 69,200    | -15,158 |
| ホテル | 290,825 | 309,800   | 18,975  |
| 航空券 | 244,982 | 245,000   | 0       |
| 雑 費 | 5,930   | 26,600    | 20,670  |
| 合 計 | 901,339 | 1,201,600 | 300,261 |

※他にみやげ代：36,551円、関空～自宅交通費：8,380円

#### ◎航空券 関空 ⇄ マドリッド

大韓航空 往復：114,420円

マドリッド ⇒ リスボン

イージージェット 16,142円

#### ◎食事代 ブサコ「ポザーダ」：45€

(通常は10€～20€)

#### ◎ホテル 150～39€

平均：63€ (8,300円)



トレドの街

## みんなでBBQ

ペナン支部 No.37 野一色 信正



肉を焼くのは慣れたもの

昨年からペナン支部では年2回BBQパーティーを開く事になりました。

ご承知のようにペナンでは約40名の会員とその家族が居を構え、穏やかなペナンのロングステイを、色々なスタイルでそれぞれエンジョイしてます。

ある人はゴルフに、ある人は陶芸に、ある人はペナンを拠点に様々な所への旅行と、多種多様なライフスタイルです。

皆それぞれのグループを作り活動をして、その中で会員以外の人たちとの交流も盛んです。

そこで、その色々なグループに属している人たちが一堂に会し、パーティーを開けば、又新たな繋がりが出来てくるのではないかという趣旨でこのパーティーを始めました。

第1回目の開催は、昨年の7月でした。

参加者は、南の会会員に限らず、その知人、友人の人まで広く参加を呼びかけました。

おかげで、幼児から小学生、中学生、高校生、大学生、日本人のみならず地元のチャイニーズ等々、南の会会員以外の多様な人たちが集まりました。

そのため2回目からは、参加者全員に名札をつけてもらい、お互い初対面の人でも気軽に会話が出来るように配慮しました。

今まで交流する接点の無かった人たちが、会場で名刺を交換する姿も見え、徐々にその輪も広がっています。参加者の半分以上はペナン支

部の会員以外の人たちです。

たまたま、その時にペナンを訪問していた国内支部の方も参加され、運営に参加した頂いた事もあります。

当初は準備の買出しも大変で、材料がどの程度必要なのか判らず電卓片手に、予算を考えながら、赤字の出ないように計算しながらの買出しです。

牛肉は、約15kgが必要と見積もり、肉の間屋を探しブロックで購入。

前日から、その材料の下準備が必要です。問屋で買ってきた肉なので処理されてないので筋や脂肪を取り除く作業が必要です。当日も始まる何時間も前から会場の準備、ようやく始まっても、肉を焼いたり、焼きそばを作ったり、野菜を炒めたり、担当者は終わるまでたちっぱなしの大奮闘、途中で、炭が無くなり、あわてて買いに走る等というハプニングもありました。



役員は準備が大変

久しぶりに会ったり、はじめて知り合った人たちとの楽しい会話は、夜遅くまで尽きることが無く、ようやくBBQが終わった時には、役員一同、しばし茫然、ぐったりと疲れはてていました。

会を重ねるうちに参加者が増えて来て、3回目の時には参加希望者が50名を超える状態となってきました。そのため会場の収容人数の問題や、設備、スタッフの対応の関係で、やむなく

途中で募集を打ち切るといった、うれしい悲鳴を上げる状態となりました。

BBQの開催場所は、当初の計画では会員が居住しているコンドミニウムを利用する事にしていました。ペナンのコンドには基本的にプールが付いていて、プールサイドにはバーベキューピットの設備があります。

その設備を借りて色んなコンドを移りながら、毎回新たな場所で順次開催して行こうというのが当初の計画でした。

しかしながら、徐々に参加者が増えて来るのに従って、それだけの人数を収容できる場所とは限定されてきました。今後は、場所探しに頭を痛めそうです。

今年からは、このパーティーの開催を、南国メールで周知して全国の皆さんにご案内しています。

次回は来年2月頃に開催の予定です。

もし、ペナンを訪問される予定のある会員の方が居られましたら是非声をおかけ下さい。

ペナン支部一同、心から歓迎致します。



このビールがたまらない



最後にデザートを

~~~~~



南 国 写 真 サ ロ ン



南太平洋の夕日（イースター島とタヒチの間の洋上より）

No.1631 飯島 省蔵氏



フレイザーヒルの街の玄関口
（マレーシア）

No.1290 神宮路 昭弘氏



ロンボク島とギリ3島
（インドネシア）

No.1108 山田 美弥子氏



ロブリーの小学校(タイ)
No.208 小林 明広氏



小学校での炊き出し(フィリピン パンガシナン)
No.227 斎木 一氏



ミンダナオ島のゴルフ場(フィリピン)
No.1457 小野 耕一氏



チェンマイ ロイクラトン
No.1277 中村 鋭夫氏



KLのヒンズー教寺院バトゥ洞窟
No.860 棚村 信了氏



市庁舎がX'masプレゼント(メルボルン)
No.434 大野 悦子氏



初めてのショートステイ
(ヒルトンハワイヴィレッジから)
No.996 歌田 晃一氏



LS地の街 ガルミッシュ(南ドイツ)
No.1607 阿部 昭子氏



20元紙幣の裏にある漓江の景色(中国)
No.1017 光城 保之氏



大沼湖と駒ヶ岳
No.1174 青木 裕氏

私の日本語ボランティア

東海支部 No.208 小林 明広

1. きっかけと概要

退職後の時間を有効に活用しようと、今まで出来なかったボランティアを考えた。海外でのLSも頭にあったので、外国人に日本語を教えるボランティアをしようと思った。

まず日本語教師養成講座420時間コース(週3日、1年間)を受講した。時間とお金がかかったが、「みんなの日本語」という有名な教材を使った指導法をはじめとして、世界の言語体系、発音の違いなど、多様な言語の知識を学ぶことができた。

この学んだ結果を生かそうと、3つのボランティアを順次実施した。まずは国内で、私の住んでいる市で日本語教室を開催していることを知り応募した。対象は西尾市と近郊に住む外国人で、ブラジル・中国・フィリピン人が多かった。ここでは「みんなの日本語」を教えるための教案と教材作りをしながら、日本語ボランティアをした。教案・教材作りにはかなり時間がかかったが、一度作れば何度も使えるのががんばって作った。

次に外国でボランティアをする機会を伺っていたら、比較的短期で負担の少ない以下の2つの機会を得た。

その1つは、友好団体のWSC(ワールドステイクラブ)で「海外日本語ボランティア」の募

集をしていた。会員でもある私は、これに応募して、コタキナバルで1か月、日本語教室でボランティアをした。この結果は南の会2010年春秋号に掲載していただいた。

外国ボランティアのもう1つは、私の勤務していた会社が設立したWAFCA(Wheelchairs And Friendship Center of Asia)というボランティア団体から呼びかけがあったので応募した。WAFCAは障害児童を車椅子などで支援する団体で、主としてタイと中国で活動している。これ以降はWAFCA主催の、タイのロッブリで3週間ボランティアをした内容です。

2. WAFCAボランティアの概要

・ボランティアの目的

日本語紹介を含めた学校の支援、車いすや遊具の修理など。

・国と町名/期間

タイのロッブリ(バンコックから北へ100Km、サル寺院で有名)で2009.8.17~3週間

・活動場所

パンヤヌクン障害児校(小中学校)、ポンロム校(小中学校、保育園)、車椅子修理場

・ボランティア参加者

4人、私を含め3人は会社OB、1人は大学生

3. 活動内容

パンヤヌクン障害児校が豚インフルエンザで8/30まで休校になったため、始めの2週間はポンロム校の支援と車椅子修理が中心となった。

8/17 月-8/18 火

日本発、現地WAFCAの人と共にバンコクから車で ロッブリへ行き、パンヤヌクン障害児校の寮へ入った。その後打合わせと活動用具・生活用品の買出しを実施。

8/19 水-8/30 日

・ポンロム校での教育

保育園には簡単な歌と体操(むすんでひらい



コタキナバル日本語教室の生徒と私

て…)、小学1～3年にはフリーテニスの紹介、小学4～6年には写真(四季・新幹線など)を使った簡単な日本語、中学1～3年には挨拶と自己紹介の日本語教育を実施。課外授業で希望者に折り紙を5回実施し、かなり人気だった。

→日本語教育はそれなりの成果が上がったが、1回の授業で定着するか疑問。むしろ、簡単な挨拶と日本の紹介を基本にしたほうがよい。その他、以下のボランティアをした。

- ・ポンロム校で遊具のペンキ塗りを2日間。
- ・車椅子修理場で車椅子を15台修理、2日間。



学校での朝礼の様子



日本語教育を受ける生徒たち

8/31月－9/3 木

- ・パンヤヌクン障害児校で主に活動
体育やゲームの手伝い、授業の手伝いをした。
- 精神障害の生徒に対してどのように対応したらよいか最初は戸惑ったが、慣れると、子供はよくなついてくれた。



パンヤヌクンで運動会の前に体操の説明

- ・休日に孤児院訪問に同行したり、エイズ患者のための寺院を見学したりした。これがかなり感動的・衝撃的だった。
孤児院では歌やゲームを子供と楽しんだり、おやつを配ったりした。



孤児院で歌やゲーム



孤児院で食事を作るボランティア

エイズ患者の療養棟内に入ると、かなり症状が進んだ患者もいたが我々の訪問を歓迎してくれた。



エイズ患者の療養棟

・お別れ会

ポンロム校・パンヤヌクン障害児校でお別れ会をしてくれた。生徒・先生全員がいる前

でタイ語で挨拶しろと言われ、一夜漬けより短い1時間漬けで何とか挨拶した。記念品を贈呈してくれ、服は今もチェンマイで使っている。

4. 費用

宿泊は学校の寮で無料だが、食事代や飛行機代などを合計して、約14万円かかった。

5. あとがき

現在は、家の事情と、少しボランティアに飽きたこともあり、日本語ボランティア活動は休止している。ボランティアは一度経験してみるのは大切だが、継続するにはエネルギーがいる。私も充電できたら、新たな出会いと体験を求めて、ボランティアを再開したいと思っている。

セブでの11年の生活

関東甲信越支部 No.359 大石橋 洋行

私が初めてセブ島を訪れてから11年が過ぎました。この11年の長いこと…。日本にだけ居たら、あっ！と言う間であろう時間が各地を巡り色々な人達と出会い沢山の出来事を体験。それゆえきっと長く感じるのではないのでしょうか。

今はセブ1ヶ月、日本に1ヶ月の暮らしにも慣れ、飛行機がエアポートに着くと途端にスイッチがかわる気がします。しかしそれまでには日本人にとって？と感じた経験や聞いた事が少なからずあり、その中の1つにセブでパン工場を経営している友人が新年を迎えるパーティーに呼んでくれて、さあカウントダウンが始まりラジオからハッピーニューイヤーの声。友人の家族は爆竹を鳴らし缶を叩き大騒ぎです。するとしばらくして今度はテレビからハッピーニューイヤーの声です。又大騒ぎ……。おいおいなぜ同じ時間でないのだ。友人に聞くとNo Problem (問題ない)との事。

これも時間に関してフィリピン人ながら時間に正確な友人にある時、あなたはいつも時間に

遅れないがあなたの友人の多くは遅れるでしょう。頭に来ませんか？ はい、それで特にルーズな友人に注意しました。すると真顔でこう言われたそうです。それはあなたの時間で私の時間とは違う、とね！

そう、こんな事も有りました。アヤラモールの来々軒にて4人で食事中、2人の現地人が今何時と聞いてきました。答えると足早に出口へ。待合せに間に合うかな…と思いながら会話に戻り食事を終え帰えろうと席を立った時、バッグのないのに気付きました。友人の一人が、そう言えば時間を聞いてきた時、他の一人が別の方向からテーブルに近づくのが見えたそうです。椅子の背もたれに掛けてあったバッグが…。ただどう割けるんでしょうね3人で。中身は着古した海パンとブラシです。(別の日、被害者は友人ですが一緒の時、別の手口でやはり)

こういう人達の中で、たとえ日本人が自分一人であっても今なら暮らしていけるのではないかと思える様になれたのは、一度会を退会し、

この機会にしばらくは日本人との交際は控え現地の人達との付合いを優先しようと殆どの時間をフィリピン人と過ごし、気が付くと5年以上。今は日本の友人共結構会食したりしています。

今回この様な機会を得て、特に新会員の方々にアドバイスを言っておこがましいのですが、1つだけお伝え出来たらと。それは現地語の学習をお奨めしたいと思います。セブではビサヤ語そして英語が普段使われ、現地の友人にどちらを習ったら良いか聞いたところ言下に英語と。もし彼方が喋れば多言語のフィリピン中どこでもOK。勿論世界中OKと俺は喋れるんだとばかり少し胸を張って答えてくれました。この国では英語は特別な意味を持っているようで、ある銀行の支店長が子供が今言葉を習っていると言うので英語だかと思いきや現地のビサヤ語と言うではありませんか。家族や学校での日常会話が英語の為、現地語が不自由になってしまったとの事。

私は60歳少し前でしたが始めてみました。今やペラペラです。カタコト英語がデタラメ英語とも言いますが、これで何とか生活も出来るし友人も作れました。この友人作りが海外生活においてとても大事で、友人一人が持つ人のネットワークの広さ深さに私達日本人ではこうはいかないだろうなーと何度か思い知らされました。何しろこの国での人脈の有効性は露骨なほどです。

多分東南アジア一般に言えるかもしれません。口さがない人はこの人間は嘘吐きと泥棒ばかりと言ってはばかりません。私自身もこの嘘で何度か嫌な思いもしました。

ピーピーと携帯にメール着信音。見ると、私の友達ヒロさん助けて。子供をすぐに病院へと書いてあり、そりゃー大変だ。又ピーと、病院名と金額、そしてすぐに来てと…私の名を呼んでおり、思ったより少額でも発信名がないので行く前に念の為と名を聞くと、知らぬ名前。人から教えてもらったのでと言訳(外国人の番号の売買があると知人より)。それでも食い下がって来ました。

皆会えば寄ると触るとフィリピン人の悪口でも不思議なのは、病気やお金の都合で日本へ帰る人はいますが、ただ嫌になって帰ったと言う話は私は聞いた事ありません。それはフィリ

ピン病だからです。ここに住んでいる方の殆どはこの病い持ちです。完治しません！

娘がオーストラリアで結婚し住んでおります。婿さんがこちらで孫と一緒に暮らしましょうと言ってはくれますが、病い持ちの私としてはここに一生を終ってもいいと思っており、せんだてレイテ島から来た友人と葬儀屋へ出向き、火葬代など費用一般を尋ね(セットで25,000ペソ、約6万円)もし先に死んだら残った方が葬式を出す約束までする始末で、やはり私も完治は無理かなー。ここでフィリピン人の弁護をさせてもらえば良い人も決して少なくありません。日本とて同じで如何にして巡り合うかで私の場合ちょっぴりボランティアに因ってからの様な気がします。

今回青木氏より活動について詳しくとの依頼でしたが、大した活動もしていない私なのでここではなぜそんな気になったかを書いてみます。セブに来た当初はどんなレストランで食事しても高いと感ずる事もないので、何か自分が少しお金持ちになった気分。だがこの事情が分かってきたある日ガラス越しにストリートチルドレンらしき子供がじーと食っている私を見詰めているではありませんか。ああーこの子は恐らく一生この様なレストランで食事することはないだろうなーと思うと何か後ろめたさを感じてしまった覚えがあります。事実、この1回の食事が貧しい労働者2～3日分の収入、それどころか家族が一週間暮らしている人達が何程いるだろうか。又彼等が見たら日本に格差



ストリートチルドレンやホームレスへ食糧等を配る



社会など本当に在るの？と言うのでは。ここでは幾らお金を持っているかで殆ど全てが決まる単純な社会に見え、頭が良く能力も有る、でも貧しいこの人の生活はこの先も今までとさほど変わらないでしょう。又能力も何もないが、お金持の家に生まれたこの人は言うまでもないです。人の価値も人生におけるチャンスもお金次第に思えてなりません。

それでは彼等は不幸かと言うと私にはどう見ても日本の人達より楽しそうです。私の貧しい友人の一人が夫婦そろって失業中。子供も居るのにどうして食べてるのと聞くと友達や隣人の家を回っているから大丈夫。私、お金ないけど毎日ハッピーと負け惜しみにとっても見えない幸せそうな顔で言うではありませんか。そう言えば前に友人の家でランチをしていた時、スーと来て私達の横で食事してスーと出ていった人をあなたの家族と聞くと、いや近所の人とすまして言うのです。無論日常的にある訳ではないでしょうが日本では考えられない。どんなに親しくもただ食事してそれも同意もお礼もなく帰る。時々悲しいニュースで親子・兄弟が人知れず餓死とここでは有り得

ない気がします。何故なら人間関係の濃密さが圧倒的に違うからです。でも、濃密であってもこの極貧の中で暮らす多くの人達の笑顔の底にあるのは、ただただ諦めのその日暮らし。日本人には僅かな薬代や治療費が払えぬ為にここでは人が簡単に死んで行く事を知りました。

あの世とやらの帰る時を日一日と感じる歳になり小生としては、帰り支度の前に些少なりとこの世に恩など返し、気持ちよく旅立ちたいと始めてみました。とは言え私の毎日と言え食べたい物を食べてマッサージ旅行と収入の大部分を楽しみの為に費す日々ですが、月の内の何回分かのレストラン代を活動費にと少し自炊を増やしました。今年の中旬にはおそらくカモテス島と言う船でセナから2時間少々静かで美しい島へ移住するでしょう。南国で暮らすなら青い海そしてココナツの茂る白い砂浜を思い描いて来ました。会の斉藤さん(22番)も一緒です。長閑な島ですからぼーと過ごしてしまいそうなので、ちょっと2人で島の為になる事など何か見付けながら暮らしてみようと話しています。もし機会がありましたらどんな活動をしているかを皆様にレポートしたいと思っています。

最後に、この会に入会し何人かの生涯の友とも呼べる人と出会えたのも、人生の最終章を迎え思いもよらぬ展開の中に身を置けたのも、この様な舞台の機会を与えて下さった南国暮らしの会とフィリピンの大地、そして今までお逢いした会員の皆様のおかげとこの紙面をお借りして深く感謝を述べるとともに、素晴らしい出会いが皆様に来たらん事を心より願っております。



障害者の学校へ楽器を贈る

ハワイでのボランティア体験記

関西支部 No.891 徳永 美智子

1. はじめに

寒さが厳しかった昨年の1月から2月にかけて気候の温暖なハワイのホノルルに滞在しました。住まいは世界中からやってくる観光客でにぎわうワイキキビーチから徒歩5分位のところにあるコンドミニアムでした。3年続けてこの時期ハワイで過ごすことになりましたし数十日間も滞在するので、帰国後に役に立つことを何かしたいと考えました。日本では緩和ケア病棟や老人ホームで長年ボランティアをしています。そこでハワイの介護施設でボランティアを体験したいと思い、ホノルルで知り合った看護師さんにボランティアとして受け入れてくれる施設を探してほしいと1年前にお願いしておきました。ところがホノルルに着いて返事を聞くとやんわり断られました。「アメリカは何かあるとすぐに訴訟になる国柄ですからね」と。日本もそうってきていますが、アメリカは何事もすぐに訴訟に持ち込む国だということは承知していましたので、やはり…というところでした。駄目かもしれないと諦めかけていたのですが、手をつくして探しました。幸いなことにマキキ聖城教会が行っているデイケア(デイサービス)にボランティアとして受け入れてもらえることになりました。マキキ聖城教会は1904年4月8日にNHK大河ドラマでよく知られるようになった同志社の神学校を出た奥村多喜衛牧師によって創立されました。

1932年世界にも前例のない日本の古城(高知城)をかたどった現在の教会堂が建設されました。奥村多喜衛は元土佐藩士だったので高知城を模した教会を建てたといわれています。その教会は日系人のための教会であってサトウキビ畑などで過酷な労働に従事する日系労働者のための憩いの場でした。テレビ番組でも何度も紹介されているのでご存じの方も多いでしょうが、礼拝は勿論、デイケア、保育など様々な活動を行っている教会です。滞在中に丁度、日野



高知城を模したマキキ聖城教会

原重明先生が新老人の会の40名ほどの会員と一緒に礼拝に来られました。

2. マキキ聖城教会でのボランティアの最初の一日

オアフ島唯一の公共交通手段である路線バスに乗ってワイキキから西に20分余り。最寄りの停留所で下車してお城を目指して歩いて行くと教会員の方が道を間違えたらいけないからと親切に出迎えてくれました。実際に教会の建物の前に立ってみると堂々とそびえたつ日本のお城そっくりな建物がありました。教会の姿はホノルルの街並みとは全く趣が違って驚かされました。建物の内部に入ってみると天井が升目状に仕切られています。それぞれの升目に日本画で花が描かれています。百年の歴史を感じさせる風格のある教会です。広い敷地の中にいくつかの建物がありますが、教会の隣の建物の中でデイケアが行われていました。世話係の方からエプロンと首から下げる名札を渡されました。名札の名前はファーストネームを記入するようになっていてMichikoと書きました。初めにボランティアの方々全員で丸い輪をつくって手を握り合って活動前のお祈りをしました。時間が来ると高齢者の方たちが三々五々集まってきました。日本と違って専用の送迎バ



デイケアの活動風景

スなどはありませんから、家族やボランティアが手分けをして送迎をしていました。ここは介護専門の施設ではないので杖をつきながらも自分で歩ける方しか受け入れません。この教会のデイケアに通ってくる方は大体80歳後半から90歳代の方で全部で30人位です。デイケアに集まってこられる方の多くはハワイに移民として厳しい労働に従事してきた両親のもとで育った2世の方です。その中に96歳と93歳の姉妹の方がいました。2人の父親はサトウキビ畑で働いて月に1度位しか帰宅しなかったという話を淡々と語ってくれました。お二人の話から移民としてハワイに定住した日本人の苦労がしのばれました。教会のデイケアだけに集会所の机の上には聖書と英語と日本語の両方で書かれた歌集が置いてありました。デイケアは讃美歌で始まります。讃美歌にはフラダンスの振り付けが付いている曲がありました。“フラ”はハワイ語で踊りの意味です。さすがフラダンスの本場です。前に立って讃美歌を歌うスタッフの手の動きに合わせて皆さんが慣れた手つきで両手を動かしていました。次は日本でもおなじみのラジオ体操第一です。足の不自由な方は椅子に座ったままで元気な方は立って行いました。次は笑いの体操です。NHKの子供番組に出てくるキャラクターの動きに合わせて皆が大声で「はっはっはっ」と笑いました。キャラクターの人形の動きがとてもユーモラスで見ているだけで可笑しくて笑えてきました。その次は童謡

を歌う時間です。皆さんのリクエストに合わせて「桃太郎」や「どんぐりコロコロ」などを歌いました。私も皆さんの間を回りながら一緒に歌いました。懐かしい歌ばかりで皆さん楽しそうに歌っていました。教会には日本人とアメリカ人の2人の牧師さんがいて、その日はアメリカ人の牧師が英語で聖書を読み説教をしました。難しい英語が理解できない方のためスタッフが格調高い日本語で通訳をしていました。デイケアの半ばに必ず美味しい緑茶とお菓子が出ました。私もお茶とお菓子の用意を手伝いました。お昼時になると別棟でボランティアが心をこめて作った日本食のランチが運ばれてきました。大きめのお皿にご飯、おかず、漬物それにデザートが盛りだくさんに並びました。デザートは95歳の女性の手作りで、自宅からバスにのって運んでくれたものだと聞いて本当に驚きま



日本の唄を歌う筆者



歌う入居者

した。昼食代は3ドルで昼食時に払います。この教会のデイケアは午前中に終わるので昼食をここで食べてから帰る方と自宅に持ち帰る方がいますが、殆どの方は昼食を済ませてから帰宅されます。一人暮らしの方は普段家で1人で食事をするので寂しい思いをしているので、傍で一緒に食べてあげて下さいとスタッフの方から言われました。私は日本で指圧とお灸を習ったことがありますし、人工呼吸器をつけた障害者のリハビリにも20年余り通っていますので、お話を聞きながら順番に肩や腕をもんであげました。どの方もこんなことは今までやってもらった事がないと大変喜ばれました。その中の一人の女性から私の昼食代を払わしてほしいと言われました。ご好意を受けないのは悪いと思い有り難く頂戴してそのまま教会に寄付させていただきました。スタッフとして活動する教会の皆様が、心のこもった気配りのある暖かい接し方をしているのが何よりも印象的でした。デイケアに来ている一人一人を、来た時、そして帰る時にしっかり抱きしめてあげていました。スキップの大切さを改めて教えられました。

3. 老人ホーム慰問

デイケアのボランティアを続けるうちに知り合いになった方で、教会の行事などでピアノ伴奏をしているKさんからお母さんが入居している日系人の老人ホーム「クアキニホーム」を見せていただくことになりました。この老人ホームはマキキ聖城教会を創立した奥村多喜衛牧師が礎を築いた日系人のための老人ホームです。ここには慰問の方もあまり来ないそうでしたので日本の唄を歌うボランティアをさせてもらうことになりました。建物の2階部分は自分で身の回りのことができる介助のいらぬ方が、3階は寝たきりの方が入居しています。食事は2

階の食堂で食べています。スタッフはフィリピン人の女性が殆どでしたが、廊下の掲示板に貼ってある1週間の予定表は全部日本語でした。訪れた日には日系人のスタッフはいませんが、集会室には日本人形や色紙などが飾られていて日系人のための施設だということを改めて感じさせられました。建物の外観から高級感のある施設だとうかがえましたが、入居費はかなりの高額で入居には経済的にかなりの余裕が必要なようでした。訪れた時、皆さんが食堂でお昼の食事中でした。アメリカらしく大きな牛肉が器の真ん中にどんと盛り付けられて、ご飯や煮物が並んでいました。日本の感覚では、お年寄りには少しヘビーな食事のようでした。食事中でしたが、日本から持参した綺麗な模様入りの和紙で折った折り鶴を30人ほどの方にご挨拶をしながら渡しました。皆様に大変喜んでいただきました。日本では毎月2回ホスピスで病室を回って唱歌などを歌うボランティアをやっていますので昼食後、集会室で皆さんと歌集を見ながら童謡などを歌いました。次に「銀座カンカン娘」や「此処に幸あり」「リングの唄」などの懐メロを歌いましたが皆さんにも懐かしい歌の形で皆さん一緒に歌ってくれました。

4. おわりに

今回のホノルル滞在の1カ月余りの間、「マキキ聖城教会」でのデイケアの手伝い、「クアキニホーム」慰問など普段できない体験をさせていただき感謝しています。どの日系人の方も日米間の問題の多い困難な時代を生き抜いて、今は柔和な表情をして平穏な余生を送っています。この平和な日々が何時までも続くことを心から祈っています。

ダバオに片思い5年

関東甲信越支部(ダバオ支部) No.1125 佐々木 一信

私はダバオでのLSは未だ2年目ですが、それまで年に数回1、2か月の滞在を繰り返していました。当然親しい日本人、フィリピン人の友人が出来ました。

その方たちが其々取り組んでいる活動にお誘いを受けお手伝いをするようになりました。私は声だかにボランティアと言うのは抵抗を感じていますので、南の会MLなどではお手伝いという表現にしています。

今まで、日本でも特別なことは嫌いでした。赤い羽根の募金も駅頭などで可愛い子供が、お願いしまーすとみれば小銭を募金箱にいれます。しわくちゃお婆さんは見ぬふりをして通りすぎます……。

然し一昨年の東日本大震災の募金は奮発しましたが、被災地に出かけるまでは至りませんでした。

ボランティア精神が旺盛でも、宗教心が高い訳でもありません。

(片思い 其の1)

友人の一人、ミンダナオ国際大学で客員教授をされていた日本人のO先生から、フィリピンの法律が変わり、幼児教育を受け修了証が無いと小学校の入学資格が得られなくなった。一般の地区はバランガイ(行政の最小単位)の小学校に保育園を併設するが、最貧困地区のスラムでは保育園が作れないので……教育省から依頼がありこの際、在住の日本人で始めたいと先生が仰り2か月滞在の私は開設にお手伝いする事ができないので¥10000-寄付しました。これがダバオでのお手伝いのはじまりです。

日本ですとこのような時は、市の土地を使用してくれ等の便宜を図ってもらえる事がありますが、ここでは依頼をするだけで何も有りません。結局、土地探し、地主との交渉で1年かかりました。在住の日本人約20名と日本の幼稚園、



Pag-asa (希望というタガログ語)保育園のX'mas

高校などがスポンサーとなり、先生の給料、家賃、子供の学用品、通園用バッグ、おやつ、遠足、イベントなど一切スポンサーが賄います。園名は「Pag-asa Learning center」[希望]としました。

日本のスポンサーからは、学用品、古着、現金などが送られてきます。小学校入学前の識字教育が中心です。週1回MKDの学生により歌やお遊戯、手の洗い方などの保健指導、偶に在住日本人が訪問し一緒に遊んだりします。

入園式、卒園式には日比両国旗を掲揚し、フィリピン国歌と君が代の斉唱そして神様へのお祈りからはじまります。既に3回卒園生を送りだしました。

私たちは清々しい感動をうけます。

然し、最近卒園式などで父兄が私のものより高価なデジカメ一眼レフやiPadで子供を撮影している人が数名います。iPadを買うお金が有ったら本当はお米を買わないと……私は思っています。素朴な疑問は何人も日本人が抱いていたようです。それに輪をかけ、これだけ苦勞して開園に漕ぎ着けたのに、また法律が変わり、幼児教育の就学前(年長組)の1年はバランガイの小学校の管理になる。資金だけ日本人に出して欲しいとの事、日本文化を教えたり、学生や日本人が訪問することは難しくなっ

まいりました。関東甲信越支部の会員の方にも協力を頂いていましたが、以上のことから、3月に卒園生を送り出したら、解散することになりました。

(片思い 其の2)

私はミンダナオ国際大学の学生の里親(スポンサー)をしています。一人の子、A子はレイテ島出身で成績優秀で4人姉妹の長女、お父さんは50歳で無職です。里親には幾つかの方法があります。一人数万円出し数名で1人の学生を支援する。授業料だけ支援する。学校に掛かる経費すべて、ドミトリー、食費、制服など一切の支援。等です。A子は成績が良く、日本語能力検定はN5、N4を軽々合格し大学からも4年ではN2を期待されていました。N2を合格すれば、日系大企業ばかりか、世界的なグローバル企業などからも求人が来るそうです。A子はドミトリーに入っていました。1年の時は1日P100のアルバイトをして、お金を貯めてパソコンを買いたいと一生懸命働いていました。私はアルバイトで何時パソコンが買えるかわからないので、ソニーのヴァイオをプレゼントしました。A子は泣いて喜んでいました。当然、里子には決まりごとがあります。成績は良くても、ドミトリーから無許可外泊、里子会ミーティングの欠席など里子基準から外れ3年進級時には里子からはずれました。

もう一人のB子はハウスオブジョイという日



ミンダナオ国際大学

本人が運営している孤児院から大学に進んだ最初の子です。他の人の里子でした。私たちにこんなにちはなど明るく挨拶をする色の黒い可愛い子です。里子がすべきことも一生懸命やっていました。然し成績が悪く3年終了時に成績が悪く、里子から外れました。アンクルさようなら…と言ってきました。可哀想で大学に確認したところ、補講を受ければ4年進級可能との事で、本人も頑張って卒業したいというので、補講代、学費、ボーディングハウス代、食費などを援助しています。日本語能力検定も1年でN5は合格したものの2年続けてN4を落としています。今年合格し、無事卒業するのを願っています。

(片思い 其の3)

ダバオ市内からジブニーを乗り継いで1時間半、トリルにある日系人会八木小学校で日本語授業のお手伝いを週3日行っています。戦後、日本へ引き揚げ船で日本へ帰らなかった、日本人やフィリピン人男性と結婚させられた人たちの子弟をその親たちが寺子屋の如く勉強を教えていたのが始まりだそうです。現在は一定の使命は達成し私学として運営されていますが、30人クラスに5～6名は日本の名前がついている子がいます。設立者の思い入れが教育方針となり、フィリピンのタガログ語、ビサヤ語、英語、日本語が必修です。系列の幼稚園から日本の歌を覚え、日本国歌、君が代も大きな声で歌います。私は、今年度小学校3年生の日本語授業の



ダバオ 八木小学校クリスマス

お手伝いをしています。ひらがな、自己紹介は2年生までに覚えました。3年生はカタカナを教えています。今年の日本祭りでは、アニメ、ナルトのほたるのひかりを上手に歌いました。我々が知っている蛍の光とは全く違います。こんな日本の歌が有るのにはビックリしました。

(片思いその他)

昨年末に100年ぶりに襲われた台風はダバオから3時間位行った、ダバオオリエンタルで死者1000名を越す被害でした。周りはバナナ、ココナッツのプランテーションでしたが、見渡す限り全てがなぎ倒され、家を失った人が群れをなしています。私の住むコミュニティーの人たちと、古着、米、水等を届けました。後で聞きますと、貰った古着、米などは街へ行行って殆ど売ってしまったそうです。もともと蹴飛ばせば壊れるような掘立小屋に住み、失う物はいまさら無い人たちだそうです。

ダバオ市内から1時間半山に入ると、電気、水のない集落が沢山あります。10数件の集落で

も子供は湧き出たようにいます。90名位の生徒数の学校に先生は2人、髪の毛にはダニがいました。水は天井のトタンを伝わってきた雨水です。ミンダナオ国際大学(MKD)が10校を年数回訪問し、保健指導、薬の提供を行っています。このお手伝いは滞在中の南の会会員も参加しています。これらの山間僻地では米は採れず、イモなどが主食です。蛋白源は蛇、カエル、ネズミだそうです。ごはん、スープをお腹いっぱい食べさせてあげよう…と次回は炊き出しをすることに決まりました。

国民の70%が貧困層と言われるフィリピンはあらゆる分野で、日本の組織や個人が支援、お手伝いをしています。自分に合った分野もすぐ見つかるでしょう。私たちは恩を売るつもりは毛頭有りませんが、それらの恩恵は全て神様にお祈りをしていたお蔭と神様に感謝します。汗を流した我々には気が抜ける程あっさりしたものです。

挫折感も味わいました。来年度からちょっと考えてお手伝いの仕切り直しです。



支 部 便 り

北海道支部便り

支部長 No.1285 桂 裕章

1)平成25年「8月サロン会の開催」

(第2回北海道支部情報交換会)

日 時 平成25年8月27日(火)

場 所 花ごころ(札幌市)

参加者 20名

・昼食時の情報交換

8月にもランチサロン会を開催しました。

マレーシアやフィリピン滞在中の前会員が涼しい夏の札幌に帰ってきていると言うので、皆さんに声をかけ20名の方が集まりました。バギオやペナンの情報やチエンマイに冬に滞在の人からはネパールツアーのお話もお聞きしました。

また、この冬にニュージーランドにロングステイする会員の情報交換も活発におこなわれるなど、夏のサロン会也大いに盛り上がりしました。

今回は急な呼びかけにも大勢の方にお集まりいただき、有意義な情報交換の時間を過ごすことが出来ました。

毎年の6月・10月の北海道支部の例会には参加出来ないと言う方にも参加して頂き、来年も夏のこの時期のサロン会をと言う会員の声が多くありました。

2)支部役員会の開催

日 時 平成25年10月5日(土)

打ち合わせ事項

- ・北海道支部10周年記念サロン会
- ・来年度の事業について
- ・夏期(8月)の情報交換会の開催について
会員からの開催希望が多くあったことから、来年度は開催の方向で検討することになった。

3)北海道支部10周年記念サロン会

(第3回北海道支部情報交換会)

日 時 平成25年10月5日(土)

場 所 ジャスマックプラザ ホテル

札幌市中央区南7条西3丁目

参加者 23人

- ・支部10周年記念のサロン会を開催しました。
- ・初代支部長の工藤さんから10年前の支部設立のお話をしていただく。当時のことを思い起こすといろいろあったので、今は感無量とのことでした。
- ・当支部では新しい会員も入ってきていますが、最近ベテランの会員が退会するなどいろいろな課題もかかえております。
- ・今後の活動についてたくさんの意見もでて、有意義な情報交換の場となりました。



関東甲信越支部便り

支部長 No.750 小松 勝正

新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え会員の皆様におかれましては、新たな計画をおもちの事と思います。また、その実現に向けてお考えの事と思います。支部としても少しでもお役にたてるよう情報の提供、共有に努力したいと思います。

関東甲信越支部も昨年は会員様、支部役員(世話役)様のご協力により、何事もなく終り新た

なる年を迎える事が出来ました。厚く御礼を申し上げます。昨年は活動の柱として、(1)サロン会の充実、(2)この指とまれ方式の交流の推進、(3)同好会、地区懇談会の推進、等を行いました。南の会に入会してサロン会、会報だけでなく会の目的である南の国でのロングステイ、又は旅をしたい、その情報が欲しい、その為にも会で知人が欲しい友人を得たい、と思っている会員様も多々おります。NPO法人南の会は、ボランティアで活動頂いている役員様の努力に頼っているのが実情です。その支えが力になっており感謝いたします。

1、サロン会の活動

関東甲信越支部は年10回のサロン会を実施しています。サロン会は会員交流の重要な場として考えて居ります。どの様な内容なのか紹介いたします。

・10月度サロン会

日 時 10月14日(月)祝日

場 所 南部労政会館(品川区大崎)、会場は固定

午後1時30分より4時まで

内 容 会員様からの体験、情報の話

1、モーちゃんのヨーロッパあれこれ

講演者(スピーカー)No.1429 牛島睦紀氏

2、ピースボート世界一周

講演者(スピーカー)No.1631 飯島省蔵氏

3、支部この指とまれ「マハロバマインズ三浦」交流会

講演者(スピーカー)No.1256 肥後憲尚氏

4、パネルディスカッション「旅あれこれ」



司会、No.1256 大塚真一氏

パネラー、No.40 平澤 信氏、No.1178 長谷川愈晃氏、No.1256 肥後憲尚氏、No.1309 青木一義氏

旅の仕方がそれぞれ違うパネラーが集い、旅のスタイルを司会の軽妙な進めで楽しいディスカッションが展開されました。

参加者 (会員様)81名

懇親会 ゲートシティ大崎、「ロオジ」

参加者(会員様)71名、午後5時より

懇親会は情報交換の場として、飲食をしながらの交流を図る。

このような形でサロン会を行って居ります、簡単ですが紹介させて頂きました。

2、「この指とまれ」方式の交流会の推進

他支部と比較して、関東甲信越支部はサロン会以外の会員同士の交流は少なく、支部の課題となっていました。昨年から支部会員様の協力により「この指とまれ」方式の交流会を実現する事が出来ました、簡単に内容についてご報告いたします。

●「マハロバマインズ三浦」

9月5日～6日

- ・1泊2日の交流会を呼び掛け、参加者20名日頃交流の無かった会員様も参加し情報交換、体験、経験等親しく交流が出来た。

●タイ「チェンマイ視察旅行」

10月21日～10月26日、参加者7名

- ・人気のチェンマイを知りたい、ロングステイをされている会員様と交流を図りたいとの要望からNo.1309 青木一義氏の呼び掛けで実施、チェンマイ在住のNo.1041 中西岩夫氏等にお世話になる、好評。

●フィリピン「ダバオこの指とまれ」

11月15日～11月29日、参加者21名

- ・ダバオ在住の前関東甲信越支部長の佐々木一信氏からの呼びかけに多数の会員様の参加がありました。ダバオ人気の下地を作って頂いた佐々木一信氏に感謝いたします。

東海支部便り

支部長 No853 岩月 玲子

東海支部は、支部発足10周年を迎えました。

2002年4～5人の同志(有志)で支部としての活動を開始し、以来、先輩支部長、役員の方々のご努力で今や会員は80名を数え、ますます賑やかになって来ました。

皆さんそれぞれの“南の会”を見つけて楽しんでおられます。現地で日本語のボランティア活動をしながら、交流をされている方もいらっしゃいます。

毎月の定例会(第2日曜日)、平日サロン会(第3月曜日)では生の有益な情報を得られるばかりでなく、会員同士の親睦を計る為に大切な集いの場です。最近ではクルーズの体験話に、会場はため息が洩れました。出席者の中には、楽しい体験報告に刺激を受けて、即席の渡航グループが生まれる事もあります。



年2回開催される“南の会マスターズ”も会を重ねて14回。ゴルフ愛好者には楽しみな支部の年中行事の一つです。

例年、秋に恒例の“タイランド・ロングステイフェスタ”は、今年は新春2月に開催されるとの事です。支部として、新しい仲間をたくさんお迎え出来るよう、総力をあげ頑張りたいと思います。

関西支部便り

支部長 No816 有元 義晶

関西支部の主要な活動を紹介します。

○月例会(情報交換会)の開催

～この指とまれバリ島下見旅行報告～

10月14日大阪市立生涯学習センターで10月例会を開催しました。バリ島下見旅行の報告を4名の方々がそれぞれテーマ別に分担して報告いただきました。他に「癒しの台湾夏の台中体験ツアー」「台中お誘いステイ」の報告があり、17時30分から夜景の綺麗な「心灯」で懇親会を開き親睦を深めました。

(参加41名)



バリ情報を報告される稲富氏

○ビアパーティ開催

8月のサロン会は阪神百貨店屋上ビアガーデンで開催しました。幸いの曇り空で暑さも忘れ飲み放題、食べ放題を満喫しました。

レディースデー & シニアデーで2,500円と格安のせいか会場は一杯、夕方から雨の懸念



関西支部は美女揃い!?

もありましたが、雨にも合わず幸いでした。
(参加者24名)

○パソコン教室の開催

7月22日、9月10日の両日、大阪市立生涯学習センターのメディア教室でパソコン教室を開催しました。WiFiとスマートフォン、iPAD関係の利便性、費用など学習しました。

また、初心者向けにWindowsの入力支援(単語登録、文字検索)についても学習しました。講師は大川さん、十河さん。参加者各12名。

終了後はいつもの懇親会へ。



パソコン教室の様子

○1泊2日ラウンドゴルフの開催

10月23日～24日、大型台風27号、28号が接近する中12名の参加を得て、滋賀県甲賀市にある「ダイヤモンド滋賀CC」にて開催されました。

初日はスタート時から小雨、途中風雨が強くなりましたが何とか全員無事ホールアウト。

温泉入浴後、レストランにての懇親会では



参加者12名

地酒等を楽しみながらゴルフ談義と翌日のラウンドをキャンセルするや否やとなりました。

翌24日の朝食時には皆さんゴルフスタイルでヤル気満々でしたので、スタートしましたが途中から暴風雨(一時は日差しもあり)となりましたが、これまた全員無事ホールアウトしました。

入浴、表彰式、記念撮影後解散し帰宅の途につきました。

九州支部便り

支部長 No.581 朝永 清寿

○熊本サロン会

平成25年8月7日熊本市・市民活動支援センター「あいぽーと」に於いて熊本サロン会を開催しました。



今年度になって熊本在住の方が3名ほど新しく加入されたので、その歓迎会も兼ねての開催でした。

今回のテーマは、「ロングステイ地での過ごし方」として、参加の皆さんの体験からいろいろな楽しみ方をフリートキングで話し合おうと、当初計画しましたが、会員以外のゲストの方も参加されたので、7月にチェンマイから帰国した3人(651 穴見夫妻、943 阿部健次さん、581 朝永夫妻)にチェンマイの最新事情を、又39日間のヨーロッパドライブ旅行から帰国されたばかりの1455 小崎婦人に旅の報告を急遽お願いしての体験発表会となりました。

(小崎婦人のヨーロッパ旅行では、過酷な旅のため、体調を万全に整えるのが大切と、常に

栄養バランスを考え、秘密の万能調理器具も持参したとか、現物も見せていただきました。)



残り20分ほどでフリートークをしましたがいっつもの様に時間が足りず続きは第2部の懇親会に持ち越されました。

懇親会は女性の財布にやさしい「ひゃくしょう茶屋」で14名の参加でした。

○栗拾い&ゴルフを楽しむ会

毎年恒例となった、「栗拾い&ゴルフを楽しむ会」を守田会員のご好意により今年も10月3日(水)～4日(木)開催しました。

栗の熟し具合の予想と、宿泊施設の空き具合で、偶然にも昨年とまったく同じ日程でした。

栗拾いは、男性2名を含め9名。ゴルフは、男性7名の参加でした。

宿泊は昨年同様「佐保の湯」で合宿風情。芸達者の面々が思い残すことなく大はしゃぎしました。宿泊棟4個の入った集合棟を借り切りましたので、広いフロアを使い放題、音響も誰にも気兼ねなく「南の会仲間の歌」をみんなで大合唱しました。

○北九州情報交換会並びにパソコン勉強会

平成25年10月20日(日)10:00～17:00

北九州市生涯学習センターに於いて会員22名(福岡市4名、北九州市6名、福岡その他2名、熊本5名、長崎2名、大分2名、山口1名)の参加により開催しました。



パソコン勉強会では、九州グループホームページの閲覧方法、ページにアップしている内容の確認及び、スカイプでの活用方法等を学習しました。

情報交換会では

- チェンマイでの怪我治療で分かったクレジットカード利用術……………1527 末次澄子さん
 - アメリカ個人旅行……………1629 春日井愛子さん
 - カナダ西海岸気まま旅行… 651 穴見安彦さん
- で私たちが知らなかった情報、感動的な体験発表がありました。
- 全員参加での「ワイワイ談義」ではミャンマーのレストランオーナー、岡本さんが参加されていまして、皆さんの関心が高い「ミャンマーこの指とまれ」に関して、ミャンマーの最新情報をお話していただきました。

セブ支部便り

支部長代行 No636 鶴岡 照郎

昨年10月のボホール大地震の時、全国の会員の皆様から、電話、メールでセブ在住会員の安否、状況等ご心配を皆様におかけしました。ご心配ありがとうございます。幸いにもメトロセブは皆で連絡を取り合い、安全確認が地震後すぐにできましたので大丈夫でした。セブの高層建物も地震後生活、入場禁止はありませんで、ブロックの壁にひび割れが入った程度で補修も簡単に済みそうです。

入場禁止の建物は、公共施設が多く今問題視されています。

建築中の建物の鉄筋を日本のそれと比べると、半分くらいしかなく大きな地震に耐えられるかと心配していましたが、大丈夫でした。

余震も何回もあり、少し心配ですがフィリピンの人たちも地震に慣れて、ビルから飛び出さなくなり日本人と同じに部屋の中で収まるのを待つ、という状態です。

セブは地震がない、台風が来ない、ということでのんびり構えてロングステイ生活していたのですが、10月の地震、11月の台風、で考え方

を180度変えて、これからは生活しなくてはならないようです。地震、台風後の長い10時間から24時間の停電のため冷凍庫の中まで解け出ししてしまう状態でした。もっとも今回の台風の際は、事前情報が豊富で、アヤラ、SM、ロビンソン等のモールは買い出しの人たちで大混雑、我々もその列にならび飲食物を買い込み台風に備え自宅待機です。

現在セブは建築ラッシュです。周りを見回るといたる所にクレーンが立ち忙しそうに動いています。マンション、コンドミニウムも多く、スタジオタイプから2-3bedルーム迄タイプも多いのですが、何しろ金額が上がってしまい、購入に気が乗りません。建築中のビルは竣工が何時だか分からず、心配事が多いので、完成した部屋を見てからでも遅くないと思われます。だいたい日本の半額ですから。フィリピンは相続税が無いそうですから、日本でお金を残すのより、節税になると思われます。

我々外食派は、毎日違うレストランに行きますがまた1つ中華レストランというかひなびた食堂を会員が人聞きに教わり、行く様になりました。夜はちょっと怖い感じですが、昼間なら大丈夫、サントニーニョ教会のそば、安くて旨い、ステンのパットの中から食べたいものを選び、あれ、これもという感じで注文します。店の名前はMing…。お試しあれ、自己責任で。

バギオ・パンガシナン支部便り

支部長 No.227 斎木 一

会員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。南国フィリピンから新年のご挨拶を申し上げます。

南国暮らしの会が益々発展を続け、会員数が増大していることを私も嬉しく思っています。会にとっても、会員の方々にとっても今年が更に素晴らしい年になりますようにお祈りします。バギオ・パンガシナン支部、今年も従来と同じ様に会の組織として国際交流やボランティアに取り組みます。

会員ばかりでなく日本人のロングステイや定

住のお手伝いも出来る範囲で続けて行きます。バギオ・パンガシナン地域にここ数年シニア技能ボランティアの方が随分増えました。とても嬉しいことです。

韓国人に押されっ放しだったバギオでの語学研修も最近は日本人の受け入れのほうが多い研修校も出てきました。日本人頑張ってくれています。

今年は会員の来訪も増えそうです。

南国暮らしの会の支部として、会員のロングステイ・定住のお手伝いが出来るのはとても遣り甲斐のある仕事です。当支部としては会の本来の趣旨、南国での暮らしの情報提供や現地でのお手伝いをします。

支部費の一部で支援を続けている学生、10年目を迎える今年はいよいよ大学生になります。継続は力、間違いないと実感しています。

太平洋戦争戦没者慰霊碑へのご案内、学校訪問、学校での炊き出しなど支部としての活動見ていただく機会があれば幸いです。

今年も会員の皆さんとの楽しい出会い、期待しています。

ダバオ支部便り

支部長 No.1261 藤本 晴久

新年明けましておめでとうございます。

ダバオは12月ごろから2月ごろまで涼しい季節となります。さすがに日中は日差しが厳しい時もありますが暑がりの私でさえ夜中は窓を閉めて寝ている日があるほどです。ところでダバオの特産品といえば日本に輸出の90%を占めるバナナですが新たに新しい特産品を作ろうという動きがあります。それは丑の日に食べるウナギです。日本産が撃滅状態のなかダバオで養殖し日本に輸出しようとしている方がおられます。この度機会があり試食会に参加しました。南国産ならではの？生きのいいウナギをさばき、蒲焼をはじめ“ひつまむし”をいただきました。日本とフィリピンとの関わり深い特産品に育てばいいと思います。今年もダバオ在住の方、会員の方々ともウナギのような長〜いお付き合い

いができる出会いがあればと思っています。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



ペナン支部便り

支部広報担当 No.519 常楽 和子

ペナン支部では今年度から月に1回のサロン会を開催しており、お互いの親睦を深めています。

大勢が一同に会するとなると、概ね中華料理が多くなります。マレーシアでも、ここペナンは中華系の人が多く住んで居るので、美味しくて種類も豊富な中華料理を楽しむことが出来ます。その他、前菜・メイン(マレー、中華、日本)・ケーキ・果物と、一応なものが揃うビュッフェスタイルもあります。

料理の値段も手頃で、しかも会員が一同に会

する会場を探すのが役員の腕の見せ所です。

ここペナンでは、今まで大型ショッピングモールとして、イオンとガーニープラザが有りますが、2013年7月に第3の大型店舗として、ガーニーパラゴンモールが新規にオープンしました。同じ地区に建設されて、既にオープンのコンドミニウム2棟、オフィスビル1棟を含みます。この地区は隣接のガーニープラザと並んでペナンでは最も賑やかで、トレンドイな一角となりました。しかし、この影響で近隣の道路は交通渋滞緩和のため、一方通行になり、この地区の住人にとっては不便を強いられているところがあります。

店内は大小合せて140余りの店舗のうち、80%が既にオープンしています。なかでも、日本でお馴染みのユニクロ、ダイソー、H&M、ゴディバまでもが進出してきています。100均の店内は、背丈よりも高い棚に商品がギッシリと並べられ、土地っ子の好奇心を満たしてくれるのか、いつも賑わいを見せています。ちなみにマレーシアでは、すべて5リンギット、日本円に換算するとおおよそ150円です。

レストランは、寿司、パスタの姉妹店が軒を並べ、日本食の好きな地元の人達で賑わい、胃袋を満たしています。

また、マレー本島とペナン島を結ぶ交通手段として、ペナン第一大橋(13Km)およびフェリーがあります。現在、交通渋滞が酷く、その対策としてペナン第二大橋(全長26m)を建設中で、11月上旬には完成の予定です。これで交通渋滞緩和および経済発展の原動力となることでしょう。

2020年には、先進国の仲間入りを目指しているマレーシア、私どもも大いに期待しているところです。どうぞ、活気に満ちたペナンに一度お越しください。

部 会 伝 言 板

広 報 部 会

広報部会長 No.1068 山科 滋雄

広報部会には広報及びHPの2委員会がご
います。

スタッフ及び担当業務内容等以下の通りで
ございます。

広報部会—1068 山科滋雄(部会長) 489 加藤
久子(副部会長) 996 歌田晃一
816 有元義晶 840 岩田 彬
(担当)「南の会」HP作成／修正／保守
他機関への投稿・新聞、雑誌等の
関係情報収集
「南の会」の対外的広報活動・マス
コミ取材窓口

・広報委員会—1068 山科滋雄(委員長) 489 加藤
久子(副委員長) 816 有元義晶
840 岩田 彬 1118 肥後憲尚
(担当) 他機関への投稿・新聞、雑誌等の
関係情報収集
「南の会」の対外的広報活動・マ
スコミ取材窓口

・HP委員会—996 歌田晃一(委員長) 1108 山
田美弥子(副委員長) 513 青木方
子 1118 肥後憲尚 1391 十河和
夫 (各支部より1名)
(担当)「南の会」HP作成／修正／保守

相変わらずホームページを見て新規入会され
る方が多く、重要な役割を担っております。

アクセスは益々増え、現在 約150回／1日。

2014年新年には累計17万回を突破していると
思われます。

最近、ロングステイに関するセミナー、書籍

などが益々人気となっておりますが、会員に周
知徹底させて頂いております。

更なる充実化に向けスタッフ一同知恵を出し
合い鋭意努力させて頂きますので、宜しくお願
い申し上げます。

以上

会 員 部 会

担当理事 No.1230 吉野 正博

明けましておめでとうございます。本年も「誠
心誠意」会務にあたって参りますので宜しくお
願い致します。年頭にあたり次のとおり連絡い
たします。

1 平成26年度 継続会員の手続きについて

平成26年度継続会員の手続きにつきましては
巻末の「平成26年度会費納入のご案内」を参照
され継続年会費を納入してください。

経理部から継続年会費の納入が会員部会に報
告された時点で、新年度に向け継続会員手続き
の準備を開始いたします。

例年、多くの皆さんが継続され「南の会」で
夫々のlife stageを楽しんでいらっしゃいます。
稀にご高齢や病気などを理由に退会される方が
いらっしゃいます。誰しも高齢や病気は避ける
ことはできません。そのような時こそ会報やM
Lを通して、多くの仲間とのつながりや絆を大
切にすることが必要ではないでしょうか。

2 住所、電話番号等の変更手続きについて

引っ越しや市町村合併等により住所や電話番
号等の会員情報が変わった場合、速やかにご連
絡(kaiin.bukai@gmail.com)ください。

会 報 部 会

担当理事 No.1017 光城 保之

会報の発行に携わっていると一年がすごく早
く感じるがあります。それというのも年に

3回の発行ですが、一つの号を発行したら次の号の準備に取り掛からなければなりません。

会報はロングステイの情報提供や会員相互の親睦など、南国暮らしの会の活動を通してロングステイを楽しみ人生を豊かにするという目的を持って発行されています。

南国暮らしの会報には会員から寄せられるホットな体験談・情報などとML・サロン会での情報を併せることで最適なロングステイプランを作るうえで大いに役立っています。

ロングステイを目的とした団体はたくさんありますが、きめ細かくホットな情報提供のできる団体は数多くはありません。南の会はその意味で稀有な団体であり、ホットな情報提供を担っているのが会報部会です。

そんな南の会の会報作りの部員を募集しております。興味のある方・時間のある方は参加してみませんか。初心者も大歓迎です。

ご連絡は理事、各支部長、会報部会までご連絡ください。お待ちしております！

経 理 部 会

担当理事 No.755 岩井 文哉

会員の皆様には、平素から経理部の業務にご理解とご協力を頂き有難うございます。今回の会報には平成26年度継続会費(5,000円)の振込用紙を同封させていただいておりますので、会報の巻末にあります会費納入案内をご一読のうえ2014年3月31日(月曜日)までに納付していただきますようお願いいたします。納入期限までの約2ヶ月余りの間に、600名近い会員の方々から入金がありますので、経理部(入金確認)と会員部(資格更新)では業務が集中します。間違い防止のため、振込用紙には会員番号を必ず記入のうえ名前は楷書で明瞭に書いてください。同封の振込用紙ではなく手書き振込用紙で振込まれた場合に、二重払いになるケースが散見されます。最初に同封の振込用紙で振り込んだ後、未納と勘違いして用紙を手書きして2回目を払ってこられるわけです。手書き用紙で支払う場合

は未納の事実をよく確認して下さい。また支払ったかどうか不安なときは、案内に載っています経理委員会宛にメールを出すなどして、事前に確認してください。

なお、住所変更等の異動がありましたら用紙の余白に追記しておいてください。以上、よろしくお願い致します。

総 務 部 会

担当理事 No.996 歌田 晃一

◆平成25年第1回理事会、平成25年6月16日(日)実施

- ・事業計画の確認・役員の業務分担の確認
- ・スケジュールの確認
- ・東海支部長交代(理事会にて承認 853 岩月 玲子)
- ・その他

平成25年度 理事会がスタートした

◆平成25年第2回理事会、平成25年10月13日(日)実施

- ・中間期予算収支状況と事業の見直し(問題なし)
- ・支部設立基準(支部細則第2条4項を追加)
- ・ハワイ支部長交代(理事会にて承認 1016村 林修次)
- ・ロングステイフェアへ参加決定(11/2)
- ・ロングステイ財団へ公的法人賛助会員へ入会(承認)
- ・定款変更の認証の報告
- ・その他

①平成25年6月12日 法務局 主たる事務所、資産、変更登記申請書提出

東京都庁 事業報告書、役員変更届、定款変更認証届提出

②平成25年9月17日 東京都庁定款認証書受領「25生都管特第1342号」

③平成25年9月26日 東京都庁「定款の変更の登記完了提出書」を提出

◆次回以降 理事会開催予定

12/15(日)、3/16(日)、4/13(日)、5/18(日)

必携委員会よりお知らせ

担当理事 No.996 歌田 晃一

昨年度より必携委員会では定款・細則の見直しに取り組んできました。

以下、昨年度より理事会で決議された細則、支部細則の改定をお知らせします。

細則第7条(6)

【改定前】会友名簿を正会員名簿とは別途に作製し、それを2年毎に見直しする。会友名簿は理事が所持する。

【改定後】会友名簿を正会員名簿とは別途に作製し、それを2年毎に見直しする。

細則第10条(1)

【改定前】賛助会員以外の会員は、会員の立場を利用した営利行為、宣伝行為をしてはならない。また、このような行為において金銭の授受をしてはならない。

【改定後】賛助会員以外の会員は、会員の立場を利用した営利行為、宣伝行為をしてはならない。また、このような行為において金銭等の授受をしてはならない。

細則第11条(4)

【改定前】交通費、旅費、事務用品費など会運営に必要な費用は実費補償とし、それ以外の金銭は支給しない。

【改定後】交通費、旅費、事務用品費など会運営に必要な費用は実費精算とし、それ以外の金銭は支給しない。

細則第12条(8)

【改定前】会の業務を行うために設ける委員会に委員を置く。

*委員の人は委員長(理事兼務)に一任。委員長は構成メンバーを理事会に報告する。

*特別な業務が発生した場合、理事長は会員にその業務を委託する事できる。

【改定後】会の業務を行うために設ける委員会に委員を置く。

*委員の人は委員長(理事兼務)に一任。委員長は構成メンバーを理事会に報告する。

*特別な業務が発生した場合、理事長は会員にその業務を委託する事ができる。

細則第12条(9)

【改定前】経理担当理事は郵便貯金口座の開設代表者とし、金銭出納の責任者として管理、記録業務も務める。

【改定後】経理担当理事は郵便貯金口座を管理し、金銭出納の責任者として管理、記録業務も務める。

細則第12条(13)

【改定前】役員報酬：役員報酬は無償奉仕活動とする。

【改定後】役員報酬：役員報酬は無報酬とする。

細則第13条(1)

【改定前】本会の総会は原則として東京で毎年1回開催する。総会の会場・日時は会報に記載することを通例とする。

【改定後】本会の総会は原則として会計年度終了後3か月以内に東京で毎年1回開催する。総会の会場・日時は会報に記載することを通例とする。

細則第14条(5)

【改定前】口座の維持：経理担当者は交代の都度、郵便貯金、郵便振替口座について代表者変更手続き(名義、住所変更等)を行い、口座を適正に維持する。

【改定後】口座の維持：経理担当者は交代の都度、郵便貯金、郵便振替口座について口座を適正に維持する。

細則付則11. ①～⑭削除、付表削除

支部細則第2条に第4項として下記を追記する。

4. 支部の設立または廃止については会員より理事長への申請により理事会にて審議のうえ決定する。

支部細則第3条2

【改定前】 南国暮らしの会会報・案内所・報告書等の作成に協力し、資料・情報の交換を行う。
【改定後】 南国暮らしの会会報・案内所・報告書等の作成に協力し、資料・情報等を提供する。

支部細則第3条3

【改定前】 地域社会の諸団体を連絡・協力し、情報の協力を努め、会員に提供する。
【改定後】 地域社会の諸団体を連絡・協力し、情報の収集に努め、会員に提供する。

支部細則第3条4

【改定前】 支部の活動について事前に(緊急の場合は事後に)理事会に連絡する。
【改定後】 支部の活動について事前に(緊急の場合は事後に)理事会の承認をとること。

支部細則第5条3

【改定前】 前項以外の支部役員は必要に応じ支部長が若干名委託する。
【改定後】 前項以外の支部役員は必要に応じ支部長が若干名選出する。

支部細則第5条4

【改定前】 支部役員は何らかの役割を分担し、支部の活動に協力する。
【改定後】 支部役員は役割を分担し、支部の活動に協力する。

支部細則第5条5削除

支部細則第7条2

【改定前】 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故あるときまたは欠けたときは、その職務を代行する。
【改定後】 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が職務の遂行ができないとき又は欠員となったときは、その職務を代行する。

支部細則第7条5削除

支部細則第8条

【改定前】 定款第16条・第17条・第18条及び第19条を準用する。
【改定後】 定款第16条・第17条・第18条を準用する。

支部細則第9条

【改定前】 国内支部連絡総会は支部会員をもって構成し、年1回南国暮らしの会総会の後に開催する。支部役員は辞任または支部連絡総会において任期満了した後も後任者が就任するまではその職務を行わなければならない(定款第16条第3項)。
【改定後】 国内支部連絡総会は支部会員をもって構成し、年1回南国暮らしの会総会の後に開催する。支部役員は辞任または支部連絡総会において任期満了した後も後任者が就任するまではその職務を行わなければならない(定款第16条第3項)。

支部細則第11条

【改定前】 国内支部会計は金銭出納帳により管理し、収支報告書を作成する。次年度予算については、行事計画及び支部共通費(役員会交通費・通信費・コピー代など)を記載し、収支報告書とともに支部推進部に報告する。
【改定後】 国内支部会計は金銭出納帳により管理し、収支報告書を作成する。次年度予算については、行事計画及び支部共通費(役員会交通費・通信費・コピー代など)を記載し、収支報告書とともに支部推進委員会に報告する。

友好団体紹介コーナー

- ★財団法人ロングステイ財団
<http://www.longstay.or.jp>
- ★チェンマイロングステイライフの会(CLLクラブ)
<http://ccl.thaijp.net/>
- ★ワールドステイクラブ(WSC)
<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>
- ★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL
(クアラルンプール) 日本人会
<http://www.jckl.org.my/>
- ★北ルソン日本人会(JANL)
<http://janl.exblog.jp>

南 国 暮 ら し の 会 支 部 一 覧

2014年 1 月現在

支部名	会員番号	支部長名	e-mail アドレス
北海道支部	1285	桂 裕章	hiro-katz1743@nifty.com
東北支部	498	氏家 孝	takashijuie3322@yahoo.co.jp
関東甲信越支部	750	小松 勝正	k-komatu@joy.hi-ho.ne.jp
東海支部	853	岩月 玲子	reiko516@r8.dion.ne.jp
関西支部	816	有元 義晶	yo-ari@dance.ocn.ne.jp
九州支部	581	朝永 清寿	ktomo581@yahoo.co.jp
マニラ支部	※1269	岩崎 宏	iwasaki@friendshipmanila.com
セブ支部	※ 636	鶴岡 照郎	telu@wave.plala.or.jp
バギオ・パンガシナン支部	227	斎木 一	saikihajime@hotmail.com
ダバオ支部	1261	藤本 晴久	katorudawann@yahoo.co.jp
バンコク支部	—		
チェンマイ支部	—		
クアラルンプール支部	—		
ペナン支部	37	野一色信正	nava56nn31688@gmail.com
ハワイ支部	1016	村林 修次	mura-sakytakyj@d4.dion.ne.jp
ゴールドコースト支部	※ 586	磯崎 興志	iso4549@sirius.ocn.ne.jp

※は支部長代行

編 集 後 記

◎徒然なるままに 今年も余すところ1カ月となった年の瀬にこの稿を書いている。1年を振りかえ見ると今年も色々な事があったがそれにしても1年の経つことの早い事、早い事。いや1年どころか最近の年月の速さはまさに光陰矢の如しだ。赤いシャツとパンツを贈られ還暦を祝ったのがついこの間の様な気がしたがもう既に60も半ばに達した。「40にして迷わず」と昔お偉い方がおっしゃたが40をはるかに超えても迷える日々が続き馬齢を重ねるだけで何も進歩していない自分がある。それどころか最近身体が年を取った事を教えてくれている。人の名前が覚えられず思い出せない、つまらない事に腹が立ち、夜の電車の窓に映った自分の顔にびっくりしたりもする。「定期券定年になったら診察券」という川柳があったが手元には診察券だらけだ。未だ行った事の無い診療科は小児科と産婦人科位になってしまった。医者に行けば順調に年をとっていますねと諭されご同輩には俺もそうだよと慰められると一安心する昨今だ。

なんだか暗い年の瀬になってしまったが新しい年を迎えるにあたって来年こそは(毎年の事だが)の気概を持って4つの目標を立ててみた。

(1) 本をしっかりと読む(最近新聞も斜め読みになって来たので隅々まで読む事)

(2) 読後感想文を書く (3) 手帳を日記風を書く (4) しっかり記憶することを意識する

ボケ防止にもなるささやかな目標だが今実践している長寿の秘訣「テクテク」「カミカミ」「ドキドキ」「ニコニコ」にこの4つを加え新しい年を乗り切っていこうと思う。そして「人は希望(夢)ある限り若く 失望とともに老い朽ちる」と言う言葉を信じて新年も夢であり希望でもある海外へ旅立つことにしよう。

最後になりましたが新年号発行に際し沢山の方のご協力がありました。お忙しい中原稿や写真を送って頂いた方々のお蔭をもちまして無事新年号が出来上がりました事大変感謝申しあげます。又新しい年を迎えるにあたって会員の皆様には平成26年がお健やかで素晴らしき年になられん事を祈願しております。ありがとうございました。

NO. 1309 青木 一義、NO. 1108 山田美弥子

平成26年度会費納入のご案内

平成26年度の継続会費納入をご案内します。

継続年会費：5,000円 **納入期限：平成26年3月31日(月)**

○本会の26年度は平成26年4月1日より1年間です。会則により、会費は年度会費制で途中入会者に対する月割り計算はいたしておりません。25年度に新規加入の方も、加入時期にかかわらず26年度会費を全額納入してください。

○同封の郵便振替用紙を使ってお振り込み下さい。振込料金は各自ご負担願います。

郵便振替口座番号：0-0170-7-24682

加入者名：「南の会」

（お願い）郵便振替の払込取扱票の「ご依頼人」欄に郵便番号、住所、氏名、電話番号を楷書で明確にご記入下さい。また、**通信欄にある会員番号**も忘れずに記入して下さい。

○海外居住者等で郵便振替の利用が困難な方は**ゆうちょ銀行**口座への振込をお願いします。

ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目：当座（「普通」ではありませんのでご注意願います。）

口座番号：0024682

受取人名(カナ氏名)：ミナミノカイ

（振込支店名の検索は、画面「あいうえお」一覧の「ゼ」または「セ」から〇一九店を選んでください。振込画面は銀行により異なることがあります。）

（お願い）銀行振込に際しては、振込人氏名の先頭に**会員番号を追加記入**してください。

○会費納入と会員資格、総会表決権の取扱について

- ・上記の納入期限内に継続会費を納入された方は、26年度会員として総会表決権を有します。
- ・期日までに会費未納入の方へは、一度納入を督促致します。さらに5月15日までに納入されない場合は退会として扱い、会員名簿およびメーリング・リストから削除致しますのでご注意願います（細則9条(5)項）。また、会報も送付しません。
- ・9月30日までに会費を納入しますと会員資格が復活します(入会金は不要)。10月1日以降の納入は新規入会の扱いとなりますので、入会金と会費を納めていただきます。
- ・新規会員で会費を26年度として納入された方は、4月1日からの会員資格となりますので、26年度総会での表決権はありません。

○やむを得ず会費納入が遅れる方へ

海外滞在中などで期日までに振込が困難な方は、下記アドレスへ件名を「会費納入遅延」としてご連絡ください。 **keiri.iinkai@gmail.com**

納入遅延の連絡を条件に特例として会報春季号をお送りします。連絡が無い場合は会員名簿およびメーリングリストからの削除を行います。

ただし、総会議決権については規定通り失効といたします。

「南国暮らしの会」から`自己責任の徹底!`

南国暮らしの会は南国暮らしの情報提供・交換・親睦の場です。これらを基にした集会・行事・旅行、或いは不動産の購入などについて、個々人の自己責任であることを肝に銘じて判断し行動してください。すべての判断・決定は自己責任です！

(参照:「南国暮らしの会」細則第10条【自己責任の原則】)

【連絡先一覧】

- (1) MLメールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
- (2) 会員関係(住所変更など) kaiin.bukai@gmail.com
- (3) 経理関係(会費、名刺ロゴマークなど) keiri.iinkai@gmail.com
- (4) その他一般 home@minaminokai.com

(メールには用件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。またMLメールアドレス変更の場合は、ウイルス防止のためご利用のウイルス防止ソフト名あるいはプロバイダのウイルスチェック契約の有無を追加してください)

ご注意: nangoku-owner@egroups.co.jp は会とは関係ありませんので、使用しないでください。

[編集委員]

No.1017	光城 保之	No. 750	小松 勝正
No. 513	青木 方子	No. 816	有元 義晶
No.1108	山田美弥子	No.1230	吉野 正博
No.1309	青木 一義	No.1388	寺田 光江

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人(NPO法人)

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 大野 悦子

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: info@minaminokai.com



投稿写真コーナー



北海道支部



関東甲信越支部



東海支部



チェンマイ支部